令和 5 年度

事業計画書

新砂田保育園
しんほそぐち保育園
ブライト保育園 横浜佐江戸
ブライト保育園 大阪谷町
ブライト保育園 東京入船
ブライト保育園 浦和美園
ブライト保育園 横浜日吉
ブライト保育園 横浜綱島
ブライト保育園 横浜松見町
ブライト保育園 調布仙川
ブライト保育園 福岡高宮
ブライト保育園 福岡東比恵
ブライト保育園 安城桜町
ブライト保育園 名古屋一社
ブライト保育園 大阪歌島

令和5年度新砂田保育園事業計画書

Ⅰ.保育園の概要

（1）　所在地：名古屋市緑区砂田2－512
（2）　定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
12	18	20	20	25	25	120

（3）　令和5年度の園児数（4月1日現在）

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4	18	24	24	24	24	118

（4）　職員数（予定）
・園長　1名　・主任　1名　・保育士　15名
・パート保育士　4名　・保育補助 3名　・調理（栄養士） 3名 ＋1名（パート）
・リトミック講師（外部） 1名　・体操教室講師（外部） 1名　・英語講師(外部) 1名
・嘱託医　2名（内科 1名・歯科 1名）　計 33 名

（5）事業年度　令和5年4月1日～令和6年3月31日

（6）開園時間　午前7時15分～午後7時15分
（延長保育時間　午後6時15分～午後7時15分）

（7）年間行事　＊別紙参照

（8）職員会議について
園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う。
・職員会議（毎月）・クラス会議、給食会議（月1回）・乳児リーダー会議(月1回)
・幼児リーダー会議(月に1回)　・定例会議(月に1回)　・各行事職員会議（諸行事前後）
・各種係会議（随時）　など

（9）研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上）の取り組み
・保育所ニーズに応え、児童福祉・地域福祉の一層の展開を図るため職員の資質向上は極めて重要であり、上部団体・各種団体の開催する研修会・研究会に積極的に参加。
・外部のみならず、内部においても各種勉強会（マナー講座、コミュニケーション研修、保育所保育指針研修、食育・救急講習など）を実施。
・法人全体の職員を対象とした交流イベント、全体研修(済聖会アカデミー)に参加する。

（10）小学校・行政機関との連絡協調

保育所に対する理解を深め、協力、連携を図るため近隣施設との交流強化

幼保小連絡懇談会の実施　職場体験受け入れ

Ⅱ．基本事項

（1）　法人理念

関わるすべての人の「ハッピー」を追及することをもっとも大切な使命とこころえています。

（2）　保育理念

「園児」の「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを支援する

＜支援したい姿、力＞

「自分という存在を肯定的にとらえ、自ら学び・考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する力」

＜大事にしたいこと＞

就学準備という狭い見方ではなく、広い意味での「人生のための学び」を大切にする

（3）　保育モットー

「つよく、ゆたかに、キラキラと」

Ⅲ．今年度の園目標、運営目標

＜園目標＞

丁寧な保育

① 安全な環境作り

・職員全員で正常と異常な環境を作り上げていく。本園の正常と異常を全職員で共通認識にして異常に気付ける体制を作る。

② 子どもも保護者も安心できる環境作り

・自分たちの声掛けや行動の一つひとつを丁寧に行う。

③ 異年齢児交流を通じて、人と関わる機会を増やし、心の豊かさを育てていく。

・コロナウイルス感染症の緩和に伴い、個々の集団だったところから園全体の集団へと繋げていく。

＜運営目標＞
キャパオーバーする前に SOS を発信する。
周りのメンバーに頼り、持ちつ持たれつ、みんなで支え合っていこう。

＜園目標実現のための取り組み、意識すべきこと＞

① 子どもたちと向き合う時間を最優先し、時間と心のゆとりを持って、保育（仕事）を楽しむために
今までやっていたことの見直し、軽減を図る。（＊行事、委員会、書類、各種ルール、しくみ など）
② まずは丁寧は保育を行い、子どもも保護者も安心して通える園作りを行う。
③ 子ども達の「今」を知る上で、クラス単位ではなく一人ひとりをしっかりと理解する。
④ ミーティングのクオリティーの見直しと徹底
次期リーダーとなる担い手の育成
⑤ 次世代を担う若手リーダーの育成
園長、主任と現場の中心となる 2 名を入れて、4名の矢で職員のサポートをしていく。
さらなる風通しの良い園作りを目指す。

◇その他取り組み強化テーマ

（1）「より良い保育」「より一層の安全・安心」への取り組み強化
・済聖会各園のノウハウ、ナレッジを共有し、進化させる
・職員のリスク管理能力高める指導、勉強会などの強化、安全対策ツールの強化
・マニュアルなどの再確認、整備

（2）給食、食育のさらなる充実を図る ＊「食」へのこだわりの強化
・給食のラインナップ充実(オリジナル献立)）を図る ＊複数園による持ち回り献立作成
・園の菜園での計画的野菜栽培活動による食育の強化を図る
・「お弁当箱の日」の継続的実施
・「ラッキーベジタブルデー」にて食への興味を持てるようにする

（3）「視える化」の見直し
・園だより、連絡帳、フェイスブック、毎日の様子などの情報発信ツールの効率的かつ有効なやり方
・保護者との直接的コミュニケーション機会増とコミュニケーションスキルの向上
＊職員の「伝える力」の強化

（4）地域との関わり、貢献の強化
・老人介護施設など近隣各種施設への慰問訪問

（5）職員の資質、レベルの向上（＊済聖会3ヶ年計画の一環）
・済聖会アカデミー（講演、研修）への参加促進
・人が育つ、人を育てる風土づくり

Ⅳ．職員体制、職員育成

（1）　権限委譲による職員の主体性強化とスピード運営（意思決定、現場展開など）
（2）　副園長、主任、リーダーによる現場指導強化、OJT 強化
（3）　全体リーダーによる、保育、チーム作り、働き方の向上
（4）　園内情報（共有事項の強化）、コミュニケーションの活性化
　　＊一部の事項を除き、全員が同じ情報（量）を持つ、共有する
（5）　開園以来継続してきた各種係活動のクオリティーアップ
（6）　自己申告制（参加したい研修テーマ）による社外研修参加機会の拡大
（7）　外部に目を向け新たな学びと刺激の機会を持つ（外部園見学、交流など）

Ⅴ．地域との連携・地域子育て支援

（1）　地域の子育て支援活動の継続とさらなる内容、レベルの向上
（2）　地元小中学生向け「町探検」「職場体験」の受け入れ
（3）　短大および4年生大学保育および調理実習生の積極的受け入れ
（4）　介護施設への慰問訪問や地域活動への積極的参加

令和５年度しんほそぐち保育園事業計画書

１・保育園の概要

（１）所在地：名古屋市緑区細口２丁目８０７番地

（２）定員　　６０名

（３）年齢別入所児童数（令和４年４月１日園児数）

	つばめ（０歳）	こだま（１歳）	ひかり（２歳）	あさひ（３歳）	のぞみ（４歳）	のぞみ（５歳）
定員	6	１２	１２	１０	１０	１０
在籍数	2	１２	１２	１１	１２	１２

（４）職員数

・園長　１名　　・主任　１名　　保育士　９名　　・管理栄養士　　３名

・保育補助　２名　・フリー保育士　４名

・体操教室講師（外部）　１名　　英語教室講師（外部）　　１名

・委託医　　２名（内科　１名・歯科　１名）　　計 24 名（令和５年４月現在）

（５）事業年度　　令和５年４月１日～令和６年３月 31 日

（６）開園時間　　午前７時～午後７時

（延長保育時間　午後６時～午後７時）

（７）職員会議・その他会議について

（円滑に運営を行うにあたり会議を開催し、計画を持って行事等進める）

・定例職員会議（毎月）　　・クラス会議（毎月１回）

・リーダー会議（必要に応じて）

・委員会会議（諸行事前後）　　・行事会議（諸行事前後）　　・給食会議（毎月）

（８）研修会について（保育の質の向上、保育士としてのスキルアップ向上を目指す）

・各種団体の開催する研修会・研究会に積極的に参加。（自己申告制導入し、自ら学び意欲的な参加が目的）

・内部においても各種勉強会の導入（ＡＥＤ講習、エピペン研修・ＳＩＤＳ研修）を毎月１回実施。

（９）小学校・行政機関との連絡協調

就学児童受け入れ校との連携を図るため近隣施設との交流強化の要望

幼保小連絡懇談会の実施

２.保育理念・方針・目標

【保育理念】子どもたちの「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを支援する

【基本方針】アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育（興味・体験・感動・気づき）

1. 子どもたちの興味を引き出すより多くの機会を提供する
2. 子どもの思いを受け止める
3. 子どもが自分で経験することを大切にする

4. 子どもが自分で考え工夫することを大切にする
5. 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

【保育モットー】「つよく　ゆたかに　キラキラと」をモットーとしています

「つよく」＊我慢強さ、打たれ強さ、諦めない気持ち、負けない強さ（健全なる競争心）
＊健康増進、健康な体つくり
＊自分で考え、自分で行動する、常にプラス思考

「ゆたかに」＊心の豊かさ、豊かなコミニュ二ケーション、創造性の豊かさ、豊かな感性を育てる

「キラキラと」＊ココロの輝き
＊何か一つでも好きで夢中になれるものを見いだし、探究心・持続力・集中力を養い、自分に対して自信を持って輝いている

3. 令和 5 年度・園目標・運営方針

＜園目標＞

・安全管理、安全教育の徹底
・「保護者の安心」への構築
・子どもの行動の裏にあるものを読み取る力を養う
・協働力を養う

＜運営方針＞

・子ども達を安全に守ることは保育園の信頼性にも関わる
・安全教育と安全管理をセットで行うことを意識することで、子ども達を事故や危険から守り保育現場の安全性を高める
・保護者と共育てをするパートナーになる
・子どもの発信を見逃がさず、様子や思いをしっかりと受け止めることで子ども理解が深まる
・子どもと同じ目線に立ち、子どもの行動の意味を知る
・保育園はチームで行う仕事
異職種、異勤務形態等に隔たりを無くし、受け身ではなく一人ひとりが働きかけ受け入れる柔軟な考えと、相談力を身に着ける

4. その他の取り組み（行事計画）

（1）保育関係

・園便り・保健便り・給食便り・行事手紙・クラス便りの保護者へ配布し行事内容を詳細に知らせる
・保育参観・個人懇談を実施し、保護者との連携を図る
・インターネット・ホームページによる行事のお知らせ等
・Facebook の視える化
（Facebook 利用者以外も閲覧できるよう園内に掲示。園内見学、降園時親子と楽しむ時間を提供し Facebook に興味をもってもらえるようにする）
・児童の健康管理とし、年 2 回内科健診・年 1 回歯科健診、毎月身体測定の実施
＊令和 5 年度年間行事予定は別紙参照

（２）給食・食育

・各クラスからの食育案を栄養士と連携し、年齢に合った食育活動を行う

・自園栽培により年間計画野菜栽培活動を通して更なる食育の強化（自然への関わり・関心を多くもつ）また、クッキング・栽培・食事の３つの柱をテーマに年齢にあった食育の提供と導入

・米の栽培に関しては一年を通してバケツ稲作りを行う

・お味見当番導入(子ども達が順番に給食の味見をおこない、食について自ら感じたことをクラスにて発表。食べることへの意欲・興味を引き上げ、食を通して思いを伝える力を養う)

・「お弁当箱の日」の継続・季節感を感じられるオリジナルお弁当の提供

・安心・安全な食の提供の強化（誤飲・誤食を完全に防ぐ）

・食育計画の見直しとスキルアップ

・食育として園全体でお箸の正しい使い方・食事マナーの導入

・食に関するＰＯＰ掲示を引き続き行い食への関心を広げる

（３） 職員体制、職員育成

・４、５歳縦割り保育も取り入れつつ、年齢担当保育士２名配置。年齢にあった保育を進めながら縦割保育のよさも生かした保育運営を行う

・保育士配置基準を満たし尚且つ、手厚く人員配置を行うことで丁寧な保育を目指す

・経験豊富な職員が若手職員の育成に努める
主任、ミドルリーダー中心に、新入職員や若手職員の人材育成に努める
主任は現場の意見を取りまとめ、職員が円滑に業務遂行できるようサポートする

・園内研修の見直し(報告・実行・実践・評価)
外部研修参加後、毎月の職員会議で研修報告を行う
地域療育センターへの訪問・障害児保育について学ぶ
（各回、数名ずつ参加、園内研修へと結びつけ、園全体として学ぶ）

・委員会の強化(年間委員会計画を作成し、ねらいをもって委員会活動を行う)
４月初めにすべての委員会が年間計画を立て、計画に基づき１年間の活動を明確にして保育者も楽しく委員会活動を運営していく。

・自己啓発活動表作成（園目標・方針から個々の目標を明確にし、スキルアップのための計画・実行・評価・改善を行う）

（４）・安心、安全対策、防災関係

・安全教育への取り組み強化（外部との連携を図り、専門家による指導を実施予定）
職員が安全への意識を高め、保育の中に安全教育を盛り込み、子ども達自身が理解する

・安全への取り組みを保護者へ発信する（FB・園内掲示・手紙配布等）

・安心安全保育を目指すうえで危険回避力スキルを上げるために危険予知力をつける
（気づきのメモ導入を行い、他者が気づく危険を知り、危険から子どもを事前に守るスキル力アップを目指す）

・具体的な避難訓練の実施（子ども自身が身を守る訓練導入）

・不審者訓練実践実施（様々な場面を想定しながら行う）

・災害時、避難所への避難の仕方、避難食の確保、避難食提供リストマニュアルを全職員把握

・年に１回避難食の実施・提供（ビニール袋での調理法を実際に行い避難時に備える）

・園独自の AED 講習会・エピペン講習会・ＳＩＤＳ研修を毎月１度開催し、全職員が対応できることを目指す（様々な事故ケースを想定し研修を実施・疑問や課題点は職員会議等で共有、討議し改善に努める）
・完全うつ伏せ寝の禁止の徹底（保護者向けリーフレットあり）
・アレルギー児対応の仕方を再認識し、安全な環境下での除去食対応を行う

（５）・地域交流
・朝の挨拶運動の継続
・地域小学校への訪問希望の申し入れ（小学校の見学等）
・小学校ＰＴＡ主催安全駆け込み場所として提供。園の子ども達の安全を守ると共に地域の子どもの安全に協力の継続
・保育士・栄養士保育園実習の受け入れ
・地域中学生職業体験の受け入れによる地域交流を行う

●年間スケジュール
（4 月～9 月）

月	行事	保護者参加行事
4月	1 日（土）入園式 3 日（月）始業式 3 日（月）～7 日（金）慣らし保育 12 日（水）誕生会 20 日（木）避難訓練	
5月	1 日（月）衣替え 17 日（水）誕生会 18 日（木）避難訓練 25 日（木）不審者対策訓練	12 日（金）親子遠足（3～5 歳児） ※0～2 歳は通常保育 個人懇談会 2 歳児　31 日（水）～6 月 2 日（金）
6月	8 日（木）歯科健診 14 日（水）誕生会 22 日（木）避難訓練 **プラネタリウム見学（5 歳児）**	個人懇談会 0 歳児　5 日（月）6 日（火） 1 歳児　7 日（水）～9 日（金） 17 日（土）保育参観（3～5 歳児）
7月	3 日（月）水遊び開始 午睡開始（4・5 歳児） 7 日（金）七夕会・誕生会 13 日（木）避難訓練 22 日（土）夏のお楽しみ会（5 歳児） 29 日（土）夏のお楽しみ会予備日	
8月	10 日（木）～17 日（木）希望保育 23 日（水）誕生会 24 日（木）避難訓練 31 日（水）水遊び終了 午睡終了（4・5 歳児）	
9月	1 日（金）総合避難訓練 7 日（木）内科健診 13 日（水）誕生会	

（10 月～3 月）

月	行事	保護者参加行事
10 月	2 日（月）衣替え 11 日（水）誕生会 12 日（木）避難訓練 26 日（木）不審者対策訓練	21 日（土）運動会 午前：乳児クラス 午後：幼児クラス開催予定 ＊予備日　10 月 28 日(土)
11 月	8 日（水）誕生会 16 日（木）避難訓練 17 日（金）～22 日（水）乳児作品展 22 日(木)～28 日(火)　幼児作品展	7 日・14 日（火） 体操教室参観（３～５歳） ※自由参加 １８日（土）保育参観（0,1,2 歳児） 個人懇談会 3 歳　29 日（水）～12 月 1 日（金）
12 月	9 日（土）避難訓練 22 日（金）クリスマス会・誕生会 23 日（土）～28 日（木）希望保育 29 日（金）～31 日（日）年末休園	個人懇談会 4・５歳　4 日（月）～8 日（金）
1 月	1 日（月）～3 日（水）年始休園 4 日（木）～6 日（土）希望保育 11 日（木）　避難訓練 17 日（水）　誕生会 25 日　(木)　不審者訓練	
2 月	2 日（金）節分 16 日（金）引き渡し訓練 21 日　(水)　誕生会 29 日　(木)　避難訓練 **保育まつり（５歳児）**	17 日（土）生活発表会（3,4,5 歳児）
3 月	1 日（金）ひな祭り会・誕生会 7 日　(木)　避難訓練 14 日（木）内科健診 21 日（木）お別れ遠足（3～5 歳児） ＊お別れ会（日程未定） 25 日 (月)～30 日 (金)　希望保育	23 日（土）卒園式（5 歳児のみ）

令和５年度　事業計画書

ブライト保育園　横浜佐江戸

１．保育園の概要

（１）　所在地：横浜市都筑区佐江戸町 2089-1

（２）　定員

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
6	8	10	12	12	12	60

（３）　令和５年度の園児数（想定）

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
6	8	10	13	13	13	63

（４）　職員数

役職	園長	主任	保育士	保育補助	事務	調理師	栄養士	嘱託医	合計
常勤	1	1	12			1	1		16
非常勤			6	1	1	1		2	11

（５）　事業年度

令和４年４月１日～令和５年３月 31 日

（６）　開園時間

平日　　７：００～２０：００

土曜日　　７：００～１８：００

（７）　職員会議

会議名	出席者	頻度
午後	クラスと調理室から１名	毎日
職員会議	正職員	月１回
非常勤職員	園長、主任、非常勤	随時
運営	園長、主任	週１回

リーダー	園長、主任、乳・幼児リーダー	月１回
係	担当	随時
行事	担当	随時
乳児会議	主任、リーダー、乳児担任	月１回
幼児会議	主任、リーダー、幼児担任	月１回
給食会議	正職員	月１回
献立ミーティング	園長、栄養士、調理師	月１回
園内研修	全職員	随時

（８） 人材育成、保育の質向上の取り組み

研修に参加し、キャリアアップを目指す。スキルに応じて役割をつける。

（９） 小学校、行政、地域との連携

都田西小学校との年長交流、幼保小との研修参加、療育利用児についての情報交換など連携が取れるようにする。

町内会と連携を取り、地域との交流を深める。（子育て支援）

２．保育目標

子どもたちの生きる力の基盤を作る

３．今年度の重点的な取り組み

基本的な事（園での決まり）からの見直し、情報の共有の徹底を行うことでひとり一人のスキルアップにつなげる。

社会人としての意識付け

社会福祉法人済聖会　ブライト保育園横浜佐江戸

中長期計画（令和５年～令和８年）

1、法人理念

かかわる人すべての happy を追求

「こども達をいきいきと育てたい、こどもを産んでも働き続けたい」そんな親の思いを理解し、手を取り合って子どもを育てていけるパートナーを目指す。

保護者

- 安心して預けられる
- 笑顔、元気。成長からたくさんの刺激がもらえる
- こどもの無限の可能性を発見し育てる喜び
- 子育ての悩みを共有し解決できる

園児

- よく遊び、よく学び、よく眠る
- 毎日保育園に行くのが楽しい
- 今までできなかったことができる喜び
- 好きなこと、得意なことを発見できる

スタッフ

- こども達と共に成長できる
- 明るく元気に生き生きと働ける
- 自分の思いを「かたち」にできる

地域

- 園のおかげで元気がもらえる
- 貢献できる喜びを感じられる

2、保育理念

こどもたちの「生きる力」の基盤づくりを支援する

「生きる力」とは「自分という存在を肯定的にとらえ、自ら学び・考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する力」。こどもたちの自由と興味関心を尊重し、自らの経験を通しての「人生の為の学び」を大事にする。また、人として豊かに育つため、その基礎となる乳幼児期の環境や人との関わりを大切にした保育を行う。

3、保育方針

アタマ・ココロ・カラダの三位一体興育

～興味・体験・感動・気付き～

こどもの興味を引き出すより多くの機会を提供

こどもの思いを受けとめる

こどもが自分で経験することを大切にする

こどもが自分で考え工夫することを大切にする

4、保育モットー

つよく・ゆたかに・きらきらと

つよく

強い心と丈夫なからだ

自分で考え行動しでききるこども

ゆたかに

よく食べ、よく遊び、よく眠る

いろいろなことに興味をもって自分らしさを表現できるこども

きらきらと

笑顔であいさつ、元気いっぱい

仲間を大切に素直で思いやりのあるこども

好きなこと、得意なことをみつけ、それに打ち込めるこども

５、中長期計画の内容

〇園運営においての行動基準

安全…こども、職員にとっての安全を最優先する

丁寧な関わり…言葉遣いや丁寧な対応。相手の立場に立って行動する

身だしなみ…社会人としての立場、場所に相応しい服装。

〇保育計画に沿った保育の実施

・マニュアルの見直し作成。佐江戸としての特徴ある保育の共通理解（担当制・異年齢保育・リズム)。保育実績や保護者の意見・要望等を検討し保育内容の改善を図っていく。リーダーを中心に保育の課題を抽出し、解決を図る。

令和５年度

・全体的な計画の見直し。内容を職員間でばらつきのないよう共有し、保育計画に沿った保育を行う。また、安定的な保育を行い、自園での特徴が定着してくる。保育士一人ひとりが主体的に保育の課題を抽出し、解決を図る。

令和６年度

〇乳児担当制保育

・担当制保育についての理解、職員間での共通認識を図る。　令和５年度

・乳児保育、発達についての再確認、見聞を広める。　令和６年度

・職員でばらつきのないよう保育を行う。　令和７年度

〇異年齢保育

・異年齢保育についての理解、職員間での共通認識を図る。　令和５年度

・色々な情報、知識を得、実践することにより、自園での異年齢保育の方向性を固める。　令和６年度

・異年齢保育の浸透、職員でばらつきのないよう保育を行う。　令和７年度

〇リズム活動

・リズムの理論や動きについて、職員間での共通理解を図る。　令和５年度

〇障碍児保育

・職員の基礎知識、理解を深め、現場での保育の実践に活かすために研修へ参加。インクルーシブ保育を目指す。　令和５年度

〇地域・子育て支援活動

・年一回のアンケート配布にて保護者ニーズの把握。

・子育て支援、保護者対応等、研修で必要な事を学び、保護者・地域のニーズを把握する。新規、地域支援事業の検討。

・地域ニーズを踏まえた新規事業の実施。　令和５年度

・交流保育、施設の地域開放等　令和６年度

〇人材育成

・専門職としての資質向上を図る為、計画的に内部研修を実施。積極的に外部研修に参加し、キャリアアップを目指す。　令和５年度

・職員のモチベーション及び、職員の質の向上を図る為、スキルに応じて役割をつける。　令和６年度

〇ブラサポ隊

・コロナウイルス感染症の状況を見て再開。

・園行事参加、環境整備の手伝い。保護者とともに園を作り上げていく。　令和５年度

社会福祉法人　済聖会

【ブライト保育園大阪谷町　令和４年度事業計画書】

1.　基本的事項

①　保育理念

・関わるすべての人の「ハッピー」を追求する

・仲良しの心・思いやりの心　「心の豊かさ」を育てる保育の実現

・様々な体験を通じ、たくさんの感動を味わい、興味・関心を持ち 「生きる世界」 を広げる。

・新時代に生きていく子ども達の「生きる力」を育てる保育の実現

②　保育方針

・児童福祉法及び指針の規定を遵守し、「アタマ・ココロ・カラダ」を育て、生きる未来を創り出す力の基礎を培う。

・集団生活において、自立した正しい生活習慣、集団のルールを身に付ける。

・友達との関わりの中で、情緒豊かでやさしい子を育てる。

・様々な体験を通して興味・関心・感動を深め、より広い視野を持てるよう導く。

・家庭と保育園の連携・協力・理解を図り、子ども達の成長の喜びを共有しつつ相互の信頼関係を築く。

保育方針に基づく年間目標（年齢別のねらい）

〈目標〉

０歳　一人ひとり欲求を満たしてもらうことで、特定の大人との信頼関係や情緒的絆を形成する。
（運動面の発達が著しくなり、自分の意志や欲求を伝えようとする。）

１歳　歩けるようになることで行動範囲を広げ、色々な物に興味を持ち、遊ぶ楽しさを知る。
（大人との関わりにより言葉の獲得をし、周囲の友達への興味を持つ。）

２歳　基本的運動機能の獲得に伴い、身の回りのことを自分でしようとする。
（語彙も増え、自己主張しながら友達との関わりを持ち楽しく遊ぶ。）

３歳　様々な動作や運動を十分に経験することで、身体感覚を高め、基本的な生活習慣を身につける。（言葉の獲得を通し友達との関わりを深め、ごっこ遊び等を楽しむ）

４歳　日常生活に必要な決まりを守り、生活習慣が身に付き自立する。
自己主張を深める中、自己主張したり、相手の主張を聞くことで思いやる心を育む。
色々な素材や自然物などに興味を持ち、遊びに取り入れる。
（活動的に全身を使いながら、様々な遊具や遊びに挑戦する。）

５歳　友達とのつながりを深め、色々な活動を通して自立と自信を養う。様々な体験を通して生活経験の範囲を広げ、進んで集団活動に参加し、自主・強調の態度を身に付ける。

③保育内容及び保育計画

保育内容

子どもや保護者の不安をなくすよう十分な関わりを持ち、信頼関係の構築を図る。

〈内容〉

1. 生命の保持および情緒の安定

一人ひとりの子どもの健康状態や発達状態を的確に把握し、異常を感じた場合は速やかに適切な対応をし、家庭との連絡を密にしておく。また、清潔で安全な環境を整え、子どもの生理的欲求を満たし、意欲的に生活ができるよう適切な援助をする。

一人ひとりの子どもの欲求を適切に満たし、気持ちを受容し共感しながら、子どもとの継続的な信頼関係を築く。また、信頼関係を基盤に主体的に活動し、自発性や探索意欲を高め、自信を持てるよう適切に働きかけ、バランスや調和の取れた活動内容にする。

2. 心身の健康・安全

様々な活動・戸外遊びを楽しみ、十分に身体を動かし楽しんで取り組む。健康的な生活リズムをみにつけたり、身の回りを清潔にし、生活に必要な活動を自分で行う。

自分の健康に関心を持ち、病気の予防を行い、危険な場所や災害時の行動を知り、安全に気を付ける。

3. 人との関わり、信頼関係

安心できる保育士との関係を基に、身近な大人や友達に関心を持ち、親しみを持って自ら関わろうとし、共に過ごすことの喜びを味わう。自分で考え、行動し、自分で出来ることは自分でする。自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。友達と一緒に活動する中で共通の目的を協力し合ってやり遂げようとする気持ちを持つと共に、決まりの大切さに気づき守ろうとする。

異年齢や様々な友達と関わり、思いやりや親しみを持つ。

4. 周囲の様々な環境

身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持ち、自ら関わり、生活に取り入れようとする。安心できる人的及び物的環境の下で五感等の働きを豊かにする。身近な動植物に親しみを持ち、いたわったり、大切にしたり、育てたり、味わうなどして、生命の尊さに気づく。生活の中で、様々な物、道具に興味や関心を持ち、考えたり、試したりする。日常の中で数量・図形・簡単な標識や文字に関心を持つ。

5.　言葉での表現

保育士などの関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとしたり、ごっこ遊びをする中でことばのやり取りを楽しむ。保育士や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみを持って聞いたり話したりする。経験したり、感じたり、考えたことを自分なりに言葉で表現する。生活の中で必要な言葉が分かり、したいこと、してほしいことを言葉で表現する。親しみを持って日常の挨拶をし、いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。絵本や物語などを興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。

6.　豊かな感性や表現力を育む

水・砂・土・紙・粘土など様々な素材に触れ親しみ、工夫して遊ぶ。保育士と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かして遊んだり、楽器にも触れ親しむ。生活の中で様々な音・色・形・手触り・動き・味・香りなどに気づいたり、感じたりして楽しむ。様々な出来事の中で、イメージを豊かにし、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。描いたり、作ったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりする。自分のイメージを動きや言葉で表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わう。

保護者に対して

保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮しつつ、保育園の専門性を生かした援助に努める。

保育計画

〈保育課程〉

子どもの育ちに関する長期的見通しを持って適切に展開し、子どもの生活の連続性や発達の様子に留意する。

０歳　一人ひとりの思いに寄り添うことで、信頼関係を育み情緒豊かな保育を行う。

１歳　安全で安心できる環境の中で、探究心を持って楽しく遊べる保育を行う。

２歳　「自分で～」を見守られることで自信を持つ。友達としっかり関わって遊べる保育を行う。

３歳　言葉の獲得や、「なんで？」を答えてもらうことで、精神的安定を図り、友達との関わりを深める。

４歳　自己主張を受け止めてもらうことで、友達にも思いやりを持ち、様々な活動や遊びに挑戦することが出来る保育を行う。

５歳　感じた事や思ったこと、想像したことなどを工夫し、様々な方法で表現出来る様表現する喜びを知らせ、想像豊かになるよう配慮する。

２．園児数・保育士配置

クラス	夢	虹	月	星	宙	華
年齢	（０歳児）	（１歳児）	（２歳児）	（３歳児）	（４歳児）	（５歳児）
定員	３名	10名	12名	15名	15名	15名
在籍園児数	３名 （最大８名）	10名 （最大 12 名）	12名	15名	15名	15名
常勤保育士配置	２名	３名	２名	１名	１名	１名
				フリー　２名		
パート	６名が交替で出勤					

園児数　合計 70 名　　職員数　合計２３名

・常 勤 職 員・・・園長１名　　主任１名　　保育士１２名　　栄養士２名

・非常勤職員・・・保育士６名　　支援員０名　　調理師０名　　無資格保育補助１名

３．保育時間

午前７時 00 分～午後７時 00 分

（延長保育時間　午後６時００分～午後７時００分）

４．給食・保健衛生

・食育計画に基づき、季節感を感じられる食材を取り入れ、和食中心のメニューを提供する

・アレルギー対応として、卵・乳の除去食を徹底管理のもと提供する

・食育活動を各クラス月に１度は計画的に行う

・子どもの食への興味や、好き嫌いなどを把握するためにも、栄養士が給食時に各クラスに入り、直接子ども達の様子を見たり、園児と触れ合う機会を持つ

・毎日給食の展示を行い、保護者にも昼食・おやつを見て頂く
月１回人気メニューのレシピの公開

・毎月　園長、保育士、栄養士の細菌検査の実施

５．健康管理

（1）園児

①　小児科　年２回（６月・１１月）園嘱託医による健康診断

②　歯　　科　年１回（６月）園嘱託医による歯科検診

③　毎月　身長・体重から肥満度チェックを行う

（2）職員

①　定期健康診断　　年１回の健康診断を予定

②　検便　　毎月「赤痢菌」「サルモネラ菌」「O-157」「ノロウイルス」の検査の実施

6.　安全対策

・避難訓練、不審者対策訓練、総合避難訓練等、火災・地震・不審者の対応について月一回
　マニュアルに従い、園全体での避難訓練を実施する
・避難経路となるビル内の階段での移動を、日頃より体験・練習する
・防犯対策として玄関はオートロックを配し、不審者の侵入を防ぐ
・警備会社に防犯警備を依頼し、安全を計る。

7.　子育て支援

・個別面談を通じ、育児、食育等に対する保護者の声を聞き、アドバイスや励ましを行う
・登降園のみならず、いつでも相談に来られた保護者に対応できるようにする
・にこにこ子育ての通信や広場の開催を充実させる

8.　行事予定

４月	進級式・入園式・誕生会 避難訓練	１０月	衣替え・不審者対策訓練・誕生会 運動会・避難訓練
５月	春の遠足（幼児）・誕生会 避難訓練・プラネタリウム（華）	１１月	秋の遠足（月・星・宙・華） 避難訓練・誕生会・内科健診
６月	衣替え・歯科検診・お泊り保育（華） 避難訓練・誕生会・不審者対策訓練	１２月	保育参観（月・星・宙・華）・誕生会 避難訓練・クリスマス会
７月	七夕会・誕生会・保育参観 夏祭り・同窓会・避難訓練	１月	餅つき・誕生会・避難訓練 保育参観、懇談（夢・虹）
８月	避難訓練・誕生会	２月	節分（豆まき）・誕生会 不審者対策訓練・生活発表会
９月	総合避難訓練・誕生会（お月見会） キラキラの会（華）	３月	総合避難訓練・ひな祭会・お別れ遠足 誕生会・お別れ会・卒園式

社会福祉法人　済聖会

【ブライト保育園東京入船　令和５年度事業計画書】

1.　基本的事項

①　保育理念

・関わるすべての人の「ハッピー」を追求する

・仲良しの心・思いやりの心　「心の豊かさ」を育てる保育の実現

・様々な体験を通じ、たくさんの感動を味わい、興味・関心を持ち 「生きる世界」 を広げる。

・新時代に生きていく子ども達の「生きる力」を育てる保育の実現

②　保育方針

・集団生活において、自立した正しい生活習慣、集団のルールを身に付ける。

・友達との関わりの中で、情緒豊かでやさしい子を育てる。

・様々な遊び体験を通して興味・関心・感動を深め、より広い視野を持てるよう導く。

・家庭と保育園の連携・協力・理解を図り、子ども達の成長の喜びを共有しつつ相互の信頼関係を築く。

保育方針に基づく年間目標（年齢別のねらい）

〈目標〉

１歳　歩けるようになることで行動範囲を広げ、色々な物に興味を持ち、遊ぶ楽しさを知る。
（大人との関わりにより言葉の獲得をし、周囲の友達への興味を持つ。）

２歳　基本的運動機能の獲得に伴い、身の回りのことを自分でしようとする。
（語彙も増え、自己主張しながら友達との関わりを持ち楽しく遊ぶ。）

３歳　様々な動作や運動を十分に経験することで、身体感覚を高め、基本的な生活習慣を身につける。（言葉の獲得を通し友達との関わりを深め、ごっこ遊び等を楽しむ）

４歳　日常生活に必要な決まりを守り、生活習慣が身に付き自立する。
自己主張を深める中、自己主張したり、相手の主張を聞くことで思いやる心を育む。
色々な素材や自然物などに興味を持ち、遊びに取り入れる。
（活動的に全身を使いながら、様々な遊具や遊びに挑戦する。）

５歳　友達とのつながりを深め、色々な活動を通して自立と自信を養う。様々な体験を通して生活経験の範囲を広げ、進んで集団活動に参加し、自主・強調の態度を身に付ける。

③保育内容及び保育計画

保育内容

子どもや保護者の不安をなくすよう十分な関わりを持ち、信頼関係の構築を図る。

〈内容〉

1. 生命の保持および情緒の安定

一人ひとりの子どもの健康状態や発達状態を的確に把握し、異常を感じた場合は速やかに適切な対応をし、家庭との連絡を密にしておく。また、清潔で安全な環境を整え、子どもの生理的欲求を満たし、意欲的に生活ができるよう適切な援助をする。

一人ひとりの子どもの欲求を適切に満たし、気持ちを受容し共感しながら、子どもとの継続的な信頼関係を築く。また、信頼関係を基盤に主体的に活動し、自発性や探索意欲を高め、自信を持てるよう適切に働きかけ、バランスや調和の取れた活動内容にする。

2. 心身の健康・安全

様々な活動・戸外遊びを楽しみ、十分に身体を動かし楽しんで取り組む。健康的な生活リズムを身に付けたり、身の回りを清潔にし、生活に必要な活動を自分で行う。分の健康に関心を持ち、病気の予防を行い、危険な場所や災害時の行動を知り、安全に気を付ける。

3. 人との関わり、信頼関係

安心できる保育士との関係を基に、身近な大人や友達に関心を持ち、親しみを持って

自ら関わろうとし、共に過ごすことの喜びを味わう。自分で考え、行動し、自分で出来ることは自分でする。自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。友達と一緒に活動する中で共通の目的を協力し合ってやり遂げようとする気持ちを持つと共に、決まりの大切さに気づき守ろうとする。

異年齢や様々な友達と関わり、思いやりや親しみを持つ。

4. 周囲の様々な環境

身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持ち、自ら関わり、生活に取り入れようとする。安心できる人的及び物的環境の下で五感等の働きを豊かにする。身近な動植物に親しみを持ち、いたわったり、大切にしたり、育てたり、味わうなどして、生命の尊さに気づく。生活の中で、様々な物、道具に興味や関心を持ち、考えたり、試したりする。日常の中で数量・図形・簡単な標識や文字に関心を持つ。

5.　言葉での表現

保育士などの関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとしたり、ごっこ遊びをする中でことばのやり取りを楽しむ。保育士や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみを持って聞いたり話したりする。経験したり、感じたり、考えたことを自分なりに言葉で表現する。生活の中で必要な言葉が分かり、したいこと、してほしいことを言葉で表現する。親しみを持って日常の挨拶をし、いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。絵本や物語などを興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。

6.　豊かな感性や表現力を育む

水・砂・土・紙・粘土など様々な素材に触れ親しみ、工夫して遊ぶ。保育士と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かして遊んだり、楽器にも触れ親しむ。生活の中で様々な音・色・形・手触り・動き・味・香りなどに気づいたり、感じたりして楽しむ。様々な出来事の中で、イメージを豊かにし、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。描いたり、作ったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりする。自分のイメージを動きや言葉で表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わう。

保護者に対して

保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮しつつ、保育園の専門性を生かした援助に努める。

保育計画

〈保育課程〉

子どもの育ちに関する長期的見通しを持って適切に展開し、子どもの生活の連続性や発達の様子に留意する。

１歳　安全で安心できる環境の中で、探究心を持って楽しく遊べる保育を行う。

２歳　「自分で～」を見守られることで自信を持つ。友達としっかり関わって遊べる保育を行う。

３歳　言葉の獲得や、「なんで？」を答えてもらうことで、精神的安定を図り、友達との関わりを深める。

４歳　自己主張を受け止めてもらうことで、友達にも思いやりを持ち、様々な活動や遊びに挑戦することが出来る保育を行う。

５歳　感じた事や思ったこと、想像したことなどを工夫し、様々な方法で表現出来る様表現する喜びを知らせ、想像豊かになるよう配慮する。

２．　園児数・保育士配置　　（令和５年４月１日現在）

クラス	虹	月	星	宙	華
年齢	（１歳児）	（２歳児）	（３歳児）	（４歳児）	（５歳児）
定員	８名	８名	８名	８名	８名
在籍園児数	８名	７名	３名	６名	３名
常勤保育士配置	３名		２名		
パート	１名		２名		

園児数　合計２７名　　職員数　合計１４名

・常 勤 職 員・・・園長１名　　主任１名　　リーダー１名　　保育士３名　　栄養士２名

・非常勤職員・・・保育士３名　　保育補助２名　　調理１名

※ 令和５年度は乳児クラス（1 歳児・２歳児）、幼児クラス（3 歳児・４歳児・５歳児）でそれぞれ縦割りの保育とする。異年齢児が関わりあうことで育ちあう姿を支援し、活動内容を工夫していくことで、子ども主体の保育への学びをすすめていく。

３．　保育時間

午前７時 30 分～午後７時 30 分

（延長保育時間　午後６時 30 分～午後７時 30 分）

４．　給食・保健衛生

・食育計画に基づき、季節感を感じられる食材を取り入れ、和食中心のメニューを提供する。

・アレルギー対応として、小麦・卵・乳の除去食を徹底管理のもと提供する。

・食育の一環として「トウモロコシの皮むき」「野菜に触れる」「もみもみスムージー」「キノコ割き」のお手伝いをして、その香りを楽しむ。

「さつまいもの茶巾絞り」「野菜スタンプ」等々・・・食育を通して食材に触れ、食に興味を持つ。衛生面を充分に配慮し、感染症等の状況をみつつ取り組むようにする。

・子どもの食への興味や、好き嫌いなどを把握するためにも、栄養士が給食時に各クラスに入り、直接子ども達の様子を見たり、園児と触れ合う機会を持ったりする。

・毎日給食の展示を行い、保護者にも昼食・おやつを見て頂く。

人気のレシピの公開（保護者からの希望有り）

・毎月　園長、保育士、栄養士の細菌検査の実施。

5.　健康管理

（1）園児

①　小児科　１歳児　毎月　園嘱託医による健康診断

２歳児～5 歳児　各クラス　年３回　園嘱託医による健康診断

②　歯　　科　年２回（6月・10 月）歯科検診

③　毎月　身長・体重から肥満度チェックを行う

（2）職員

①　定期健康診断　　年１回の健康診断を予定

②　検便　　毎月「赤痢菌」「サルモネラ菌」「O-157」「ノロウイルス」の検査の実施

6.　安全対策

・避難訓練、不審者対策訓練、総合避難訓練等、火災・地震・不審者の対応について月一回マニュアルに従い、園全体での避難訓練を実施する。

・火災、地震訓練では年間１回から２回、消防署職員の方にもご参加頂き、園での訓練が的確であるかの助言を頂く。

・不審者訓練では、警察署生活安全課のご指導により、園児及び職員に対しての訓練を実施。

・警察署交通安全課の指導の下、年２回（5月、11 月）実際の交差点で、信号の見方や横断歩道の渡り方を二人組になり体験させて頂く。

・避難経路となるビル内の階段での移動を、日頃より体験・練習する

・防犯対策として玄関はオートロックを配し、不審者の侵入を防ぐ

・警備会社に防犯警備を依頼し、安全を計る。

7.　子育て支援

・個別面談を通じ、育児、食育等に対する保護者の声を聞き、アドバイスや励ましを行う

・登降園のみならず、いつでも相談に来られた保護者に対応できるようにする

・昨年度、コロナ禍で実施出来なかったが、地域の子育て支援として　月１回、土曜日に地域の乳児子育て中の親子の活動を実施していく。

8.　行事予定

４月	進級式・入園式・誕生会・健診（虹華） 避難訓練	１０月	避難訓練・誕生会・健診（虹星）・英会話 運動会（幼児）・見学説明会
５月	誕生会・保育参観・懇談会（幼児） 避難訓練・英会話・	１１月	親子遠足（幼児）・誕生会・英会話 健診（虹月）・避難訓練・給食参観（虹）
６月	懇談会（乳児）・誕生会・健診（虹星） 避難訓練・英会話　園見学説明会	１２月	保育参観（虹月・星・宙華）・誕生会 避難訓練・クリスマス会 健診（虹華）・英会話
７月	水遊び・七夕会・誕生会・健診（虹月） 避難訓練・英会話	１月	新年の集い・餅つき・誕生会・避難訓練 英会話・健診（虹宙）
８月	避難訓練・誕生会・健診（虹華） 夏祭り・英会話	２月	節分・誕生会・健診（虹星）・英会話 不審者対策訓練・生活発表会
９月	引取り訓練・誕生会（お月見会） 健診（虹宙）・英会話	３月	ひな祭・お別れ遠足・健診（虹月）・誕生会 お別れ会・避難訓練・英会話・卒園式

２０２３年度ブライト保育園浦和美園事業計画書

Ⅰ．保育園の概要

（１） 所在地：埼玉県さいたま市緑区下野田５０９番地

（２） 定員

0歳児	1歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
５	１０	１５	２０	２０	２０	９０

（３） 令和５年度の園児数（４月１日現在）

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
５	１０	１６	１９	２０	２０	９０

（４） 職員数（予定）

・園長　　１名　　・副園長　　１名　　・主任　　１名　　・保育士　　１０名
・パート保育士　　５名　　・調理（栄養士）　２名 ＋1名（半日）
・嘱託医　　２名（内科　１名・歯科　１名）　　計　２３名

（５）**事業年度**　　２０２３年４月１日～２０２４年３月３１日
（６）**開園時間**　　午前７時００分～午後８時００分
（延長保育時間　　午後６時００分～午後８時００分）

（７）**年間会議**

園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う。

・園内会議（適宜　年間行事予定表参照）園長・副園長・主任保育士・常勤全員
・運営会議（月１回）園長・副園長・主任保育士
・処遇改善会議（月１回）園長・副園長・担任保育士
・乳児会議幼児会議（月１回）園長・副園長・クラス代表保育士
・給食会議（月１回）園長・副園長・給食職員
・行事職員会議（係により年数回)園長・副園長・主任保育士・担当保育士

（８）**給食**

・１－２歳児　午前おやつ、昼食、午後おやつ
・３－５歳児　昼食、午後おやつ
・延長児　　補食
・アレルギー児（宗教等家庭的事由含）への除去対応
・食育活動（植物栽培・食べ方・クッキング等）

（９）**防災安全**

・避難訓練　年１２回
・消火訓練　年１２回
・引き取り訓練　年２回
・不審者対応　年２回
・防災設備の保守点検　年２回
・消防署への協力、報告（消火訓練協力予定）
・自主点検
・法定点検
・非常用飲料水、食料の確保、点検

（１０）**保健衛生**

・園児定期健康診断　年２回
・園児定期歯科検診　年１回

・職員健康診断　年１回（常勤職員）
・職員インフルエンザ予防接種　年１回（全職員）
・検便検査　年１２回（全職員）調理職員・調乳担当職員はロタウイルス検査（年６回）
・感染症拡大防止対策
・園児身体測定　年１２回

（１１）研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上）の取り組み

・全園研修会
・園長会
・給食研修
・救命救急研修
・その他必要に応じて外部研修に参加
・子ども主体の保育について勉強会

（１２）小学校・行政機関との連絡協調

・保育所に対する理解を深め、協力、連携を図るため近隣施設との交流強化
・幼保小連絡懇談会の実施
・社会福祉協議会に参加し近隣の情報収集を行う。

Ⅱ．保育目標

（１）　基本方針

・法人の保育理念、保育方針を踏襲し、前年度の自己評価による改善を実施し、「子どもを中心におく」保育の実現に努める。
・より良い子育て環境を地域全体で作っていくために地域支援活動にも引き続き力を入れて計画をする。在園児のみならず子育て中の家庭と園との関係を深め強くしていく。
・保護者に日々の保育の様子と子どもの育ちを共有できるよう日々の活動の写真販売を毎月行う。
・職員のモチベーションアップのために個々のやりたい事や目標を知り達成のための助言や手伝いをしていく事で人材の定着に努める。

（２）　保育目標

・自己肯定感が高く、自分や周りの人を信じて愛せる子どもになるようにする。
　そのために子どもをそのまま受け止めて寄り添いながら成長の手助けをする保育を行う。
・安心できる信頼関係の中で（適切な環境）、子ども自身が選び（主体的な取り組み）、自分で取り組み（能動的な集中力）、最後まで責任を持った行動が出来る（社会的自立）環境を整える。

Ⅲ．今年度の重点取り組みテーマ

子ども主体の保育を学び、今までの保育との違いを知る。

《子ども主体の保育について考える》
・今までの保育を具体的に振り返りながら大人主体か子ども主体か考える。
・毎月職員会議を行い年間テーマとして勉強していく。
・今年度は振り返りと学びの１年と考え、来年度につなげる。
・子ども主体の保育を行っている園に積極的に見学に行き、学びにつなげる。

《丁寧な保育を行う》
・子どもに徹底的に寄り添い、子どもの思いを理解する。
・子どもの興味関心がどこにあるかを見つける目を持ち、遊びに集中出来るようにする。
　子どもをよく見て興味を知ることで、子ども主体の保育計画を考えていく。

《安心・安全な保育を行う》
・慣れによる間違った安心感を持たないように注意事項を確認する機会を職員会議の時に組み込む。
・コロナウイルス感染症のみならず、感染症対策を引き続き行う。

社会福祉法人　済聖会

令和５年度　横浜日吉保育 事業計画書

Ⅰ．保育園の概要

（１） 所在地：横浜市港北区日吉 5-21-1

（２） 定員

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
６	10	８	12	12	12	６０

（３） 令和５年度の園児数（４月１日現在）

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
６	10	１０	１０	11	１０	５８

（４） 職員数（予定）

・園長　　１名　　・主任　　１名　　・保育士　　常勤　１０名　非常勤　７名
・保育補助　　１名　　・調理（栄養士）２名　（調理師）１名
・事務（パート）　１名
・嘱託医（小児科）１名　（歯科）１名　　計　　２６名

（５）事業年度　　令和５年４月１日～令和６年３月３１日

（６）開園時間　　午前７時００分～午後８時００分
（延長保育時間　午前延長：午前７時 00 分～午前７時 30 分
午後延長：午後６時 30 分～午後８時 00 分）

（７）職員会議・その他会議について
園の円滑な運営と事業推進のため計画的に次の職員会議を行う。
・定例職員会議（毎月１～２回）　・クラス会議（月１回）　・運営会議（毎月１回）
・乳児会議、幼児会議（月１回）　・行事職員会議（諸行事前後）・１対１ＭＴ
・リーダー会議（年６回）　・非常勤職員会議（随時）　・給食会議（毎月）等

（８）研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上）の取り組み
・保育所ニーズに応え、児童福祉・地域福祉の一層の展開を図るため職員の資質向上は極めて重要であり、上部団体・各種団体の開催する研修会・研究会に積極的に参加。
・横浜市のキャリアアップ研修への積極的な参加の促進を図るとともに、自主的な申出による参加を促せるシステムを構築。また、研修で得たものを園内に報告しながら相互の学びとなる工夫をする(乳児会議、幼児会議などでの報告会)
・外部のみならず、内部においても各種勉強会（保育新指針の解釈研修・感染症対応研修・食育研修など実施）

（９）小学校・行政機関との連絡協調
・保育所に対する理解を深め、協力、連携を図るため近隣施設との交流強化
幼保小連絡懇談会への参加
・特に学区である「横浜市立矢上小学校」との連携（年長児の交流会、運動会の会場として使用など）

Ⅱ．保育目標

（１） 保育目標（方針）

【ミッション】

関わるすべての人の「ハッピー」を追及することをもっとも大切な使命とこころえています。
「園児」の「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを「アタマ・ココロ・カラダの三位一体“興育”」を通じて支援する。

子どもたちの「生きる力を育む」

「生きる力」とは・・・①自分に対する「自信」（自己肯定感）
②自ら考え、自ら行動する（考え抜く力、前に踏み出す力）
③豊かなコミュニケーション
④豊かな感性、創造性の豊かさ
⑤仲間と関わる（チームワーク）力

【保育目標】

Ⅰ　自分の思いを表現する
Ⅱ　自分で積極的に「ヒト、モノ、コト」に取り組む
Ⅲ　自分で考え、工夫し判断する
Ⅳ　他者の思いに気づき、他者の思いを受け止めていく

【保育の関わり方】

① 子供の思いを受け止める（ストローク行動を大切に）
⇒一人ひとりを大切に思い、安心できる大人（職員）に守られる心地よさを感じ、人が人を信じて生きていく土台を作る。
② 見守り、認める保育の実践
⇒充分な見守りの中で経験をさせる。道徳心（知）・体の動かし方（体）、そうならないための知恵（知）を学ぶ。
③ 一人ひとりへの丁寧なかかわり（言葉・所作）
⇒一人ひとりを知る・・・子供が楽しむこと、喜んでいることを楽しみ共感し寄り添う保育
④ 子供が自分で考えるきっかけを作る言葉掛け

Ⅲ．今年度の重点的な取り組み

『気付きを高めよう！　』

「気付く」ことが出来ると・・・

●子どもの気持ちや思いが把握できる
子どもの気持ちの変化に気付き、保育士としてどのような援助・配慮が出来るかを考えることができます。子どもの考えや興味に気付くことで、日々の保育のヒントになります。

●子どもの成長が分かる
子どもは日々成長しています。目に見える成長から心の成長まで・・・
普段から小さな変化に気付くことを心がけて、保護者の方とも共有していきたいですね。

●保育環境を整えられる
気付く力があれば、今いる環境を良くすることが可能です。
保育室の危険に気付き、改善できる。　子ども・保育者の導線の改善。
保育園で安全に過ごしやすい環境が作れるのは、先生方の気付きがあってこそだと思います。

●職員同士、フォローし合える関係づくり

職員同士の連携が大切なのは言うまでもありません。
お互いフォローし合うことができれば、良い関係づくりにも繋がります。が・・・なかなか口に出せなかったり、言いにくいこともあります。
そこで、気付くことが出来れば、「あの先生大変そうだな」「声かけてみようかな」
「ちょっと困ったことがありそうだな」「助け舟出した方がいいかな」など、行動出来ます。
また、保護者に対しても、困っていること・悩んでいることに気付き、寄り添うことで保護者支援となりますね。

⇩

＜どうしたら気付ける？＞

◇意識して見る！
・周りを見てみよう。
・相手の状況を知ろうとしよう。

◇記録をとってみる！
・受け入れ時に気付いたことをしっかりメモしよう！
・正確なことを思い出せる。

◇気付きを共有する！
・自分だけでなく他の人と共有することで、気付きを広めていこう。
・事実に沿って共有しよう。

◇話をする！
・保護者と何気ない会話
・先生同士の会話
・子どもとの会話
話をすることで、様々なこと/意外なことを知ることができるかもしれません。

Ⅳ　保育のテーマ

『　子どもを尊重する保育　』

子どもの気持ちを置き去りにしない関わりを目指す。

・傾聴　　・子どもの目線に立つ　・本心を想像する
子どもの気持ちを理解しようとすることが、子どもの気持ちを尊重する保育への第一歩となります。

子どもの発達にあった保育を目指す。

発達段階とは、子どもの身体的、さらに感情的な段階のことです。
この発達段階に合わせた課題を見つけていく、また子どもの発達段階を知ることで、
より子どもとのコミュニケーションを取りやすくなり、保育を進めやすくなります。

Ⅴ　安全・安心への取り組み

・済聖会各園のノウハウ、ナレッジを共有し、進化させる
・職員のリスク管理能力を高める指導、勉強会の開催
・ヒヤリハットの活用・共有
・避難訓練計画の見直し/保護者参加の引き取り訓練
・初期消火訓練/通報訓練
・救命救急研修
・午睡チェック研修
・「不適切保育」研修

Ⅵ　食への取り組み

・給食のラインナップ充実(オリジナル献立)）を図る　＊複数園による持ち回り献立作成
・保護者向け給食試食会（栄養指導、食育指導も兼ね）の継続実施と人気給食メニューのレシピ情報の発信
・保護者アンケートの実施
・給食部門への質問箱の設置
・各クラスの食育年間計画の作成・実施
・野菜の栽培の実施
・お弁当箱の日
・ラッキーベジタブルＤＡＹ
・三大栄養素（年長児）
・職員へのアレルギー対応、誤飲誤嚥の危険性の周知の徹底・勉強会

Ⅶ　「視える化」のより一層の推進・強化

・園だより、連絡帳、Facebook、ホームページなど情報発信ツールにおける情報発信の定着化
・保護者との直接的コミュニケーション機会増とコミュニケーションスキルの向上
・るくみーメール・おたよりの活用

Ⅷ　職員体制、職員育成

・スピード運営⇒明確な意思決定、現場展開。
・職員間での情報共有の徹底。
・年を通してのミーティングの定着化。
・現場主体の柔軟性のあるコミュニケーションの活性化。
・各係の活動の明確化。
・園外研修への積極的な参加⇒研修で学んだことを園内研修を行い、他職員と共有する。

Ⅸ　地域との連携・地域子育て支援

・地域の子育て支援活動の構築
・地域交流の計画化（絵本の貸し出し）
・園見学説明会の充実化⇒６月～　平日・土曜日　複数回実施予定

2023年横浜綱島園事業計画書

Ⅰ．保育園の概要

（１） 所在地：横浜市港北区新吉田東1-6-26

（２） 定員60名

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6	8	10	12	12	12	60

（３） 令和5年度の園児数（４月１日現在）

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
5	10	10	9	12	11	57

（４） 職員数
・園長　１名・保育士　6名・パート保育士　7名・保育補助　3名
・栄養士　１名　・　調理師　１名
・嘱託医　　2名（内科　１名・歯科　１名）・事務職員　　１名　　計　22名

（５）事業年度　　令和5年4月1日～令和6年3月31日

（６）開園時間　　月～金曜日　午前7時00分～午後8時00分
　　土曜日　午前7時00分～午後6時00分

（７）職員会議について
≪園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う≫
・定例職員会議（毎月）　・リーダーミーティング（(随時）
・クラス会議（月１回）　・乳児組、幼児組会議（月一回）
・行事会議（諸行事前後）・各種係り会議≪安全、衛生、るくみー、食育（随時）≫
・給食会議（毎月）　など

（８）外部研修、園内研修、勉強会など、研修体制の強化
≪外部研修及び園内研修への参加を通して、保育所全体の保育の質の向上を目指す≫

・キャリアアップ研修・・・保育士の資質向上を目指しより高度な専門分野の知識や技能を習得する。また中堅職員の育成力を強化する。
【研修分野】①乳児保育②幼児保育③障害児保育④食育アレルギー⑤保健衛生・安全対策⑥保護者支援・子育て支援⑦保育実践⑧マネジメント

・園内研修・・・外部研修や法人内で研修で得た知識を個人的な体験に終わらせず、職場で共有し、園全体の力にしていく。専門性の研修以前の人としての身近な研修。今年度の課題として安全面の外部研修をZoomで受講。

・勉強会・・・法人主催の年齢別勉強会や嘱託医やリハセンターの心理士から感染症やアレルギー、発達障害などの話を聞いたり、関連機関や地域保護者などとつながりを持つための講習会に参加する。

（９）地域との連携

・社会福祉協議会と連携し近隣中学校の生徒をボランィアとして受け入れる。
（市立新田中学校　予定未定）

・グループホーム「あすなろ」（高齢者施設）との交流。活動を通して「おもいやり」の気持ちを育んでいきたい。

・保育所に対する理解を深め、子育て支援、地域交流を兼ねて人形劇や紙芝居などの催し物などの開催を検討する。

・就学先の小学校と交流をして、就学に向けての期待と理解を得る

Ⅱ．保育目標

【法人理念】

関わるすべての人の「ハッピー」を追及することをもっとも大切な使命とこころえています。

「園児」の「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを「アタマ・ココロ・カラダの三位一体“興育”」を通じて支援する。

【保育方針】

アタマ・ココロ・カラダの三位一体“興育”

※「生きる力」とは

・自ら考え行動する（考え抜く力、前に踏み出す力）
・我慢強さ、打たれ強さ、あきらめない気持ち、自分に負けない気持ち
・豊かなコミュニケーション
・豊かな感性、創造性の豊かさ
・仲間と関わる（チームワーク）力
・自分に対する「自信」（自己肯定感）

【モットー】

「つよく、ゆたかに、キラキラと」

生きていくうえで大切な「つよさ、ゆたかさ、キラキラ」を園児自らが身につけることを支援したいという「思い」と「姿勢」が表れています。

【保育目標】

① 自分の思いや考え意見を表す。
② 健康で色々な体験を元気いっぱいする
③ 自分で積極的に色々なことに取り組む
④ 自分で考え、工夫し判断する
⑤ 他者の思いに気づき、他者の思いを受け止めていく
⑥ 感じる心、人を大切にする心

【保育の関わり方】

① 子供の思いを受け止める
② 子供が自分で経験することを大切にする
③ 子供が自分で考え工夫することを大切にする
④ 子供が自分で気づくように言葉かけをする

Ⅲ．今年度の運営目標、園目標

【運営目標】

・人と人との関わりを大切に、子どもが安定して過ごし、保護者が安心して預けられ保育園とする。
・保育の質や職員の質の向上のため園内外の研修参加の充実を図る。
・職員間のコミュニケーションを図り職員全体が保育の理念を正しく理解し働きがいのある職場にする。
・地域との繋がりを大切にし、保育園に対する理解を深め協力、連携を図る
・年齢にあった集団でしか体験できない経験を取り入れる。
・老人施設と交流を深め思いやりの気持ちを育む（感染状況等考慮して実施予定）
・全てにおいてつながりのある保育を心掛ける
・子どもや保護者が抱えている問題に対応するため地域や専門機関との連携を深める

【園目標】

・進んで挨拶が出来る子供たち。
・人との関わりを大切にして、思いやりを持り優しく接することが出来る子供たち。
・色々なことにチェレンジして、最後まで頑張れる子供たち。

・目標の理解・・・職員ひとりひとりが意味を理解し自分達のものにすることを目指す。
子どもたちの手本となるような挨拶や、関わりを持つ。

◇職業に誇りを持ち生き生き楽しく働く

※人が育つ、人を育てる風土、環境をつくるために大切にすること・・**感じの良い人である事。**

① 日常会話を大切にする⇒当たり前の挨拶を率先して気持ちよくする。
② 話しやすい「場づくり」⇒思いが伝えやすい行動を心掛ける
③ 意見はみんなで話し合う⇒意見を否定するのでなく、一度受け止め相互の意見交換
④ 生き生き楽しく働く⇒保育士が楽しい気持ちを持たないと、子供たちを楽しい気持ちにできないので感じる心を持って保育する。
⑤ 子供　たちの成長に関われる喜びを保護者に伝え、共有して見守る。

令和5年度　事業計画書

ブライト保育園　横浜松見町

Ⅰ　保育園の概要

（１）　所在地：横浜市神奈川区松見町 3-2-4

（２）　定員

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
６	８	１０	１２	１２	１２	６０

（３）　令和４年度の園児数（想定）

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
６	１０	１０	９	１２	１１	５８

（４）　職員数

役職	園長	主任	保育士	保育補助	調理師	栄養士	嘱託医	合計
常勤	１	１	１２		１	１		１６
非常勤			６	１	１	１	２	１１

（５）　事業年度

令和５年4月１日～令和６年3月３１日

（６）　開園時間

平日　　７：００～２０：００

土曜日　７：００～１８：００

（７）　職員会議

会議名	出席者	頻度
昼ミーティング	各クラスと給食室から１名	毎日
職員会議	正職員（年２回非常勤）	月１回
リーダー会議	全体・乳・幼リーダー/園長/主任	年６回以上
乳児討議・幼児討議	各カテゴリー担当職員	年６回以上
各行事の会議	各行事の係	行事毎
避難訓練会議	担当職員・園長・主任	年６回以上
その他の係の会議	その他の係の担当	適時
非常勤会議	非常勤職員・園長・主任	適時

（８）研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上、安全、衛生面）の取り組み

・保育所ニーズに応え、児童福祉・地域福祉の一層の展開を図るため職員の資質向上は極めて重要であり、上部団体・各種団体の開催する研修会・研究会に積極的に参加（Web 研修の多用）

・外部のみならず、内部においても各種勉強会（事故防止、乳幼児救急、感染症防止、アレルギー児対応、食育研修、不適切保育研修など）を実施。

（９）小学校・行政機関等との連絡協調

保育所に対する理解を深め、協力、連携を図るため近隣施設との交流強化

幼保小連絡懇談会の実施等

Ⅱ．保育目標

（１） 保育目標（方針）

【ミッション】

関わるすべての人の「ハッピー」を追及することをもっとも大切な使命とこころえています。

「園児」の「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを「アタマ・ココロ・カラダの三位一体“興育”」を通じて支援する。

【モットー】

「つよく、ゆたかに、キラキラと」を保育モットーとしています。

生きていくうえで大切な「つよさ、ゆたかさ、キラキラ」を園児自らが身につけることを支援したいという「思い」と「姿勢」が表れています。

【保育目標】

“私は私（自分らしく生きる）、私はみんなの中の私（みんなと共に生きる）”

《一個の主体として生きていく基本姿勢を育む》

① 自分の思いを表現する

② 自分で積極的に「ヒト、モノ、コト」に取り組む

③ 自分で考え、工夫し判断する

④ 他者の思いに気づき、他者の思いを受け止めていく

【保育の関わり方】

① 子供の思いを受け止める

② 子供が自分で経験することを大切にする

③ 子供が自分で考え工夫することを大切にする

④ 子供が自分で気づくように言葉かけをする

Ⅲ　今年度の重点的な取り組み

【　年間テーマ　】

『　安全第一！ENJOY　保育！！　』

● 「安全計画」をもとに、園内研修や園外の研修なども活用し、「安全概念」のばらつきをなくす。

● 「子どもの人権」に対しての共通認識を持ち、言葉の使い方、振る舞い方を見直しする。

● 子どもの「育ちを知り」、子どもと「共鳴し」、子どもの「声を聴き」、子どもの「思いを受け止める」。

Ⅳ　その他　強化テーマ　～コミュニケーション～

◇ 「本当の意味での安心して預けられる園を目指して・・・」

・特に登降園時の毎日の保護者とのかかわりについては、園内研修・外部研修も検討。

→　日々の信頼関係の構築を図り、子ども達の為に、どんな時も理解できる関係性であるための一歩。

◇　保育への取り組み

①「応答的な関わり」と「共感的な関わり」について、共通理解を図る

②保育活動内で「絵本」の積極的導入をし、「楽しむ事」「想像する事」「落ち着いて過ごす事」「聴くこと」への楽しさを知らせていく

◇　『視える化』のより一層の推進、強化

・園便り、保健だより、絵本だよりをはじめとする園からの情報発信の量の見直しをし、更に「ICT 化」を進め（るくみー活用）、開かれた園とし、保護者が情報の取得をしやすい様に進めていく。

・保護者との直接的コミュニケーション機会増とコミュニケーションスキルの向上

※職員の伝える力の強化

◇　給食、食育のさらなる充実を図る　※「食」へのこだわりの強化

・保護者向け給食試食会の工夫　　・給食部門への質問箱の充実
・野菜などの栽培の実施　　・段階を経た食育計画の立案、実施

◇地域との連携・地域子育て支援活動の構築
・地域の子育て支援活動の構築
・地域交流の計画化（近隣老後施設など）
・園見学説明会の充実化→６月～　実施
・近隣店舗、保育園などとの交流

令和５年度　ブライト保育園調布仙川業計画書

Ⅰ．保育園の概要

（１） 所在地：東京都調布市仙川町３－１７－６
（２） 定員：７０名

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
５	１０	１０	１５	１５	１５	７０

（３） 令和５年度の園児数（４月１日現在）

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
５	９	１１	１４	１１	１６	６６

（４） 職員数（予定）
・園長　　１名　・主任　１名　　・保育士　　１２名　　・看護師１名
・非常勤保育士　　７名　　・調理師（栄養士）　３名

・嘱託医　　２名（内科　１名・歯科　１名）　　計　２７　名

（５）事業年度　　令和５年４月１日～令和６年３月３１日

（６）開園時間　　午前７時 00 分～午後８時 00 分
（延長保育時間　　午後６時 01 分～午後８時 00 分）

（７）職員会議について
園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う。
・定例職員会議（毎月）　・クラス会議（月１回）　・行事職員会議（各行事前後）
・各種係会議（随時）　　・給食会議（毎月）
・非常勤職員会議（随時）　・１対１面談（年３～４回）　等

（８）研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上、安全、衛生面）の取り組み
・保育所ニーズに応え、児童福祉・地域福祉の一層の展開を図るため職員の資質向上は極めて重要であり、上部団体・各種団体の開催する研修会・研究会に積極的に参加する。
・外部のみならず、内部においても各種勉強会（事故防止、乳幼児救急、感染症防止、アレルギー児対応、食育研修など）を実施していく
・各個人別の研修計画を立て、年間を通して計画的に研修を実施していく。
・WEB 等を利用し、安全な研修を積極的に受講する。

（９）小学校・行政機関等との連絡協調
・保育所に対する理解を深め、協力、連携を図るため近隣施設との交流強化を実施する
・幼保小連絡懇談会の実施
・巨人軍交流事業等
・交通安全指導の実施
・地域の園芸店などへの買い物の実施

Ⅱ．保育目標

（１） 保育目標（方針）

【ミッション】
関わるすべての人の「ハッピー」を追及することをもっとも大切な使命とこころえています。
「園児」の「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを「アタマ・ココロ・カラダの三位一体“興育”」を通じて支援する。

【モットー】
「つよく、ゆたかに、キラキラと」を保育モットーとしています。
生きていくうえで大切な「つよさ、ゆたかさ、キラキラ」を園児自らが身につけることを支援したいという「思い」と「姿勢」が表れています。

【保育目標】
“私は私（自分らしく生きる）、私はみんなの中の私（みんなと共に生きる）”
《一個の主体として生きていく基本姿勢を育む》

① 自分の思いを表現する
② 自分で積極的に「ヒト、モノ、コト」に取り組む
③ 自分で考え、工夫し判断する
④ 他者の思いに気づき、他者の思いを受け止めていく

【保育の関わり方】

① 子どもの思いを受け止める
② 子どもが自分で経験することを大切にする
③ 子どもが自分で考え工夫することを大切にする
④ 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

Ⅲ．今年度の重点取り組みテーマ

＜年間テーマ＞

・保育を通して、子どもたちが「自己肯定感」を持てるようにする。
・保育士が話す言葉を子どもたちが使っていくということを肝に銘じ、正しく丁寧な言葉を話すよう心掛ける。
・定員変更のメリットを生かし、収支改善を継続する。

＜取り組み＞

・毎月１回、職員に対して不適切保育に対する研修を行う。
・事務時間が平等にとれるように、全体でシフトを調整する。
・職員の休憩時間が確保され、時間内に業務が終わるように園内全体で協力する。
・「食べれる」「食べれない」を使用禁止とし、使った場合は指摘しあう。
・感染症対策に留意したうえで、保護者会を積極的に開催し、園との信頼関係を深める。
・今まで控えていた、幼児クラスの合同行事を徐々に増やす。

Ⅳ．職員体制、職員育成

（１） 組織体制導入による権限委譲と適正運営
（２） 年間の研修計画を立て、参加したい研修テーマを中心に積極的に研修に参加する。

（３） 受講した研修の内容を園内で報告する。

Ⅴ．地域との連携・地域子育て支援

（１） 短大および４年生大学保育の実習生の受け入れの働きかけ
（２） 地域活動への積極的参加と地域貢献

※上記はすべて感染症状況を考慮し、十分な対策をした上で可能な場合にのみ実行する。

令和５年度ブライト保育園福岡高宮事業計画書

1、保育園の概要

（1）　所在地：福岡市南区清水１丁目 19 番７号

（2）　定員　60 名

（3）　年齢別入所児童数（4 月 1 日現在）

	ゆめ（0 歳）	にじ（1 歳）	つき（2 歳）	ほし（3 歳）	そら（4 歳）	はな（5 歳）	合計
定員	6	8	10	12	12	12	60
在籍数	8	10	12	15	17	17	79

（4）職員数（4 月 1 日現在）

・園長１名　・主任保育士１名　・保育士 11 名　・パート保育士１名　・栄養士２名

・パート調理１名　・体操教室講師（外部）１名　・英語教室講師（外部）１名

・嘱託医２名（内科１名、歯科１名）

計 21 名

（5）　事業年度　令和５年４月１日～令和６年３月 31 日

（6）　開園時間　午前７時～午後８時（延長保育時間　午後６時～午後８時）

（7）　会議について

園の円滑な運営と事業推進のため次の会議を行う

・定例職員会議（毎月）　・未満児会議、以上児会議（毎月）

・給食会議（毎月）　・行事担当者会議（随時）　・リーダー会議（毎月）

（8）　研修会について

・行政・各種団体の開催する研修会・研究会に参加

・キャリアアップ研修への参加

・園内研修開催と参加

（9）　小学校、行政機関との連絡

・保育所に対する理解を深め、協力・連携を図るため関係機関との交流を図る

・幼保小連絡懇談会の参加、小学校見学

2、基本事項

（1）法人理念

かかわるすべての人の「ハッピー」を追求する

（2）保育理念

子どもたちの「生きる力」（独り立ちし、社会の中で生きていく力）の基盤づくりを支援する

（3）基本方針

アタマ・ココロ・カラダの三位一体「興育」～興味・体験・感動・気付き～

（4）モットー

『つよく　ゆたかに　キラキラと』

生きていく上で大切な事を園児自ら身に付ける事を支援していく

・自分のことは自分でしようとする子ども

・自分で感じ行動できる子ども

・意欲的で創造性豊かな子ども

（5）福岡高宮の目標

子どもも親も保育者も、関わるみんなが幸せになる保育園

（6）福岡高宮の目指す子ども像

・心も体も元気な子ども

・自分で考えて行動できる子ども

・感性豊かな子ども

・思いやりのある子ども

3、今年度の園目標・運営目標

・人的、物的環境の充実

・日常生活に根付いた行事の開催

・保育の「見える化」、保護者との共有と連携

4、その他の取り組み

（1）　保育関係

・園だより、保健だより、給食だよりの配布や、クラス別懇談会の開催
保育参観・保育参加などを通して、保護者に子どもの姿を伝え、育ちを共有する

・Facebook、ホームページによる行事のお知らせ

・年２回の内科健診、年１回の歯科検診、尿検査（4、5 歳児のみ）、
毎月の身体計測

（2）　給食・食育

・行事食の提供「バイキングの日」の実施（3 月）

・段階を経たクッキング（カレー作り、クッキー作り）（５歳児）

・おにぎり作り（３歳～５歳児）

・野菜の栽培、収穫の実施

・玉ねぎ、とうもろこし等の皮むき、絹さやのすじ取り体験

・栄養士による「三つの栄養素」、「調味料」の話

・お月見団子づくり（展示用）

・お弁当の日の実施

(3)　防災対策

・月１回の避難・消火訓練の実施

・不審者侵入（防犯）訓練、洪水・高潮訓練、通報訓練の実施

・年長児に向けて警察署員による交通安全の講和

(4)　新たな取り組み、継続的な取り組み

・禁止語、否定語、命令語を使わない保育（子ども主体の保育）

・事故発生訓練（子どものケガや事故の際の対応訓練）

・就学前の年長児に対する防犯教室（南警察署）の開催

・不審者侵入（防犯）訓練（南警察署）

・高潮の際の避難訓練の実施

・年度末利用者アンケート実施

5、令和５年度年間行事計画

（別紙参照）

令和５年度ブライト保育園福岡高宮年間行事

月	行事	保護者参加行事
4月		
5月	・　２日（火）子どもの日の集い ・25 日（木）交通安全指導 （3・4・5 歳児）	
6月	・　１日（火）　衣替え ・22 日（木）　歯科検診 ・28 日（水）　内科健診	・24 日（土）クラス懇談会
7月	・　３日（月）　水遊び、プール活動開始 ・　７日（金）　七夕会	
8月	・31 日（木）　水遊び終了	・　５日（土）　夏のお楽しみ会（2 部制）
9月	・　尿検査（4・5 歳児）	・15 日（金）　キラキラの会 （5歳児祖父母）
10 月	・27 日（金）4・　5 歳児遠足	・13 日（金）　引き渡し訓練 ・14 日（土）　運動会
11 月		
12 月	・25 日（月）　クリスマス会	・16 日（土）　生活発表会
1 月	・　５日（金）　新年の集い	
2 月	・　２日（金）　節分会 ・防犯訓練（5 歳児） ・不審者侵入訓練（全職員・全園児）	・17 日（土）クラス懇談会
3 月	・　１日（金）ひなまつり ・　８日（金）お別れ遠足（3・4・5 歳児） ・22 日（金）　お別れ会	・16 日（土）　卒園式

◆　**毎月の行事**　・誕生会メニューの日　・お誕生日祝い（各クラス）
・発育測定　・避難消火訓練　・子育て支援
・保育参観（保育参加）

◆　**課内・課外教室**　・英会話教室　・体操教室

2023年度　ブライト保育園福岡東比恵事業計画書

1　保育園の概要

（1）所在地　　福岡県福岡市博多区東比恵2丁目12番39号

（2）定員　60名

（3）年齢別入所児童数（令和5年4月1日園児数）

	ゆめ (0歳)	にじ (1歳)	つき (2歳)	ほし (3歳)	そら (4歳)	はな (5歳)
定員	6	8	10	12	12	12
在籍数	3	9	12	13	15	12

（4）職員数

・園長　　1名　　・主任　1名　　保育士　13名　　・管理栄養士　2名

・調理員　　1名

・嘱託医　　2名（内科　1名・歯科　1名）　　計20名（令和5年4月1日現在）

（5）事業年度　　令和5年4月1日　～　令和6年3月31日

（6）開園時間　　午前7時　～　午後8時

（延長保育時間　午後6時～午後8時）

（7）職員会議・その他会議について

（円滑に運営を行うにあたり会議を開催し、計画を持って行事等進める）

・定例職員会議（毎月）　　・クラス会議（毎月1回）　　・乳児・幼児会議（月1回）

・リーダー会議（需要に合わせて）　　・給食会議（毎月）

（8）研修会について（保育の質の向上、保育士としてのスキルアップ向上を目指す）

・各種団体の開催する研修会・研究会に参加

・救命救急、AED講習受講、感染症予防講習会

（9）小学校・行政機関との連絡協調

就学児童受け入れ校との連携を図るため近隣施設との交流強化の要望

幼保小連絡懇談会の実施

2　保育理念・方針・目標

【保育理念】子どもたちの「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを支援する

【基本方針】アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育（興味・体験・感動・気づき）

1. 子どもたちの興味を引き出すより多くの機会を提供する
2. 子どもの思いを受け止める
3. 子どもが自分で経験することを大切にする
4. 子どもが自分で考え工夫することを大切にする
5. 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

【保育モットー】「つよく　ゆたかに　キラキラと」をモットーとしています。

「つよく」＊我慢強さ、打たれ強さ、諦めない気持ち、負けない強さ（健全なる競争心）
＊健康増進、健康な体つくり
＊自分で考え、自分で行動する、常にプラス思考

「ゆたかに」＊心の豊かさ、豊かなコミニュニケーション、創造性の豊かさ、豊かな感性を育てる

「キラキラと」＊ココロの輝き
＊何か一つでも好きで夢中になれるものを見いだし、探究心・持続力・集中力を養い、自分に対して自信を持って輝いている

3　今年度の運営目標、園目標

目指す保育：【子どもと共に育つ保育】

保育の「質」を高める園づくり

○　子ども主体を徹底して、いつも子どもを１番に！Kids　First
○　自分自身を改善し続けていく
○　開園５年目～保育のアップデート～

●【子どものやりたいこと】に、必要不可欠な養護と教育をつなげる。

【子どものやりたいこと】を実現するためには、安心して生活できる環境づくりや健康管理などの生活に欠かせない取り組み（養護）と、例えばはさみの持ち方や数を指導する等の必要な学び活動（教育）が必要です。この２つは、それぞれをバラバラに考えるのではなく、子どものやりたいタイミングに合わせて行えば、子どもは無理なく、意欲的に身につけることができます。

【子どものやりたいこと】を遊び・生活の中心に据えて、必要な教育・養護はその遊びの中に取り組んでいくことで、子どもが自主的・主体的に取り組む姿勢が自然とできていくのではないでしょうか。

春先は特に、安心・安全・安定につながる“環境づくり”を軸にし、6月以降より、子どものやりたいことを中心に必要な力を育てるように計画をしていく。

●子どもの姿から自分を学び、１人の人間としての自分を高めていく努力をする。

自分の保育実践や子どもの育ちの経過などを常に自分で振り返る反省的実践者であること、そして同僚と気軽に話し合い、意見を交換し合うような対話的実践者であることが大切だと思います。

“不適切保育”など保育者の資質が問われる根本的な問題は、子ども目線、寄り添う、子どもから学ぶという意識があれば生じないことだと考えます。

●保育をアップデートする

保育は毎年毎年積みあがっていくもので、その園の保育の歴史というものが積みあがっていきますそんな中、保育を続けていくとどうしてもその園の保育の仕方というものが固まってきます。

これは、すごく当然のことで、私たちは保育の在り方が定まってくることで「余裕」と「見通し」を持って保育に向かうことができます。しかし、その自分たちの保育の在り方、ふるまい方、そして軸だと思っていることを、ずっとずっとそのままにしておくと、いつしか凝り固まって、目の前の子ども達の変化に対応しきれないといったことも起こります。

時代の変化が激しい中、目の前の子ども達の変化とともに、残していきたいものは残しながら、柔軟に

アップデートしていくことが大切だと思います。

皆さんの中の【やりたいこと・やってみたかったこと】にチャレンジしてください。

5　その他の取り組み（行事計画）

（1）保育関係

・園便り・保健便り・給食便り・行事手紙・クラス便りの保護者へネット配信し、行事内容を詳細に知らせる

・保育参観・クラス懇談会・個人懇談を実施し、保護者との連携を図る

・インターネット・ホームページによる行事のお知らせ等

・Facebook の視える化と参加型の導入

（Facebook 利用者以外も閲覧できるよう園内に掲示。子どもと共に楽しく参加できるよう「いいね」ステッカーを月 1 回導入。親子と楽しむ時間を提供し Facebook に興味をもってもらえるようにする）

・児童の健康管理とし、年２回内科検診・年１回歯科検診、毎月身体測定の実施

＊2023 年度年間行事予定は別紙参照

（2）給食・食育

・安心・安全な食の提供の強化（誤飲・誤食を完全に防ぐ）

・食育として園全体でお箸の正しい使い方・食事マナーの導入

・食に関するＰＯＰ掲示を行い食への関心を広げる

（3）職員体制、職員育成

・目標達成シート作成（自己の目標を達成するためにＰＤＣＡサイクルの習慣化を身につけさらに高いレベルのＰＤＣＡを回す（スパイラルアップ）を目指し、自己成長へと繋げる。

・園内情報、コミュニケーションの活性化

＊一部の事項を除き、全員が同じ情報（量）を持つ、共有する

(4) 安心・安全対策・防災関係

・安心安全保育を目指すうえで危険回避力スキルを上げるために危険予知力をつける。

・ヒヤリハットの活用により安全文化・安全教育の安心を目指した保育の実現。保育士全員の意識の向上強化。また、お散歩時の園外保育チェックリストの活用により安全に努める

・具体的な避難訓練の実施（子ども自身が身を守る訓練導入）

・不審者訓練実践実施（いろいろな場面を想定しながらおこなう）

・災害時、避難所への避難の仕方、避難食の確保、避難食提供リストマニュアルを全職員把握

・園独自の AED 講習会・エピペン講習会・ＳＩＤＳ研修を開催し、全職員が対応できることを目指す

(5)・地域交流

・地域小学校への訪問希望の申し入れ（小学校の見学等）

・短大および４年生大学保育および調理実習生、高校生との触れ合い等積極的な受け入れ

・町内会活動への積極的参加と地域貢献

●年間スケジュール
（4 月～9 月）

月	行　事	保護者参加行事
4 月	●　発育測定 ●　避難訓練 ●　交通安全指導（3・4・5 歳児） ●　誕生会【4 月生まれ】 ☆　子育て支援＜毎月第 2 金曜日＞	
5 月	●　こどもの日の会 ●　発育測定 ●　避難訓練 ●　交通安全指導 ●　誕生会【5 月生まれ】 ☆　子育て支援＜毎月第 2 金曜日＞	○　保育参観
6 月	●　尿検査（4 歳児以上） ●　歯科健康診査 ●　発育測定 ●　避難訓練 ●　交通安全指導 ●　誕生会【6 月生まれ】 ☆　子育て支援＜毎月第 2 金曜日＞	○　年齢別個人面談
7 月	●　夏祭り＆作品展（4 日） ●　七夕祭り（7 日） ●　水遊び開始 ●　発育測定 ●　避難訓練 ●　交通安全指導 ●　誕生会【7 月生まれ】 ☆　子育て支援＜毎月第 2 金曜日＞	
8 月	●　プール遊び ●　発育測定（頭囲・胸囲） ●　避難訓練 ●　交通安全指導 ●　誕生会【8 月生まれ】 ☆　子育て支援＜毎月第 2 金曜日＞	
9 月	●　園医による定期健康診断 ●　発育測定 ●　避難訓練 ●　交通安全指導 ●　誕生会【9 月生まれ】 ☆　子育て支援＜毎月第 2 金曜日＞	

（10 月～3 月）

月	行　事	保護者参加行事
10 月	●　衣替え ●　発育測定 ●　交通安全指導 ●　誕生会【10 月生まれ】 ☆　子育て支援＜毎月第 2 金曜日＞	◎　引き渡し訓練 ◎　運動会
11 月	●　作品展 ●　秋の園外遠足【3・4・5 歳児】 ●　発育測定 ●　避難訓練 ●　交通安全指導 ●　誕生会【11 月生まれ】 ☆　子育て支援＜毎月第 2 金曜日＞	
12 月	●　クリスマス会 ●　発育測定 ●　避難訓練 ●　交通安全指導 ●　誕生会【12 月生まれ】 ☆　子育て支援＜毎月第 2 金曜日＞	
1 月	●　おめでとう会・もちつき（5 日） ●　発育測定 ●　避難訓練 ●　交通安全指導 ●　誕生会【1 月生まれ】 ☆　子育て支援＜毎月 2 金曜日＞	◎　生活発表会
2 月	●　節分（豆まき会） ●　お別れ遠足【3・4・5 歳児】 ●　園医による定期健康診断 ●　発育測定（頭囲・胸囲） ●　避難訓練 ●　交通安全指導 ●　誕生会【2 月生まれ】 ☆　子育て支援＜毎月第 2 金曜日＞	◎　保育参観・進級説明会
3 月	●　ひなまつり会 ●　お別れ会 ●　発育測定 ●　避難訓練 ●　交通安全指導 ●　誕生会【3 月生まれ】 ●　進級式 ☆　子育て支援＜毎月第 2 金曜日＞	◎　卒園式

2023年度ブライト保育園安城桜町事業計画書

１・保育園の概要

（１）所在地：安城市桜町７番１４号

（２）定員　　１１０名（認可定員１３０名）

（３）年齢別入所児童数（２０２３年４月１日園児数）

	ゆめ（０歳）	にじ（１歳）	つき（２歳）	ほし（３歳）	ひかり（３歳）	そら（４歳）	はな（5歳）
定員	１５	２０	２０	１３	１２	１０	１０
在籍数	６	１４	２３	１３	１３	２５	２３

（４）職員数

・園長　１名　　・主任　１名　　保育士　１４名　　・調理（栄養士）　１名

・管理栄養士　　２名　　・保育補助　　１名　　・非常勤フリー保育士　３名

・委託医３名（内科　１名・歯科　１名・薬剤師　１名）　計２６名（２０２３年４月現在）

（５）事業年度　　２０２３年４月１日～２０２４年３月３１日

（６）開園時間　　午前７時１５分～午後８時（延長保育時間　午後６時１５分～午後８時）

（７）職員会議・その他会議について

・定例職員会議（毎月）　・クラス会議（毎月１回）　・委員会会議（諸行事前後）

・行事会議（諸行事前後）　・給食会議（毎月）　・乳幼児会議（毎月）

・幼児会議（毎月）　・乳児会議（毎月）

・アシスタントリーダー会義（随時）

（８）研修会について（保育の質の向上、保育士としてのスキルアップ向上を目指す）

・各種団体の開催する研修会・研究会に積極的に参加。（自己申告制を導入し、自ら学び意欲的な参加を目的とする・キャリアアップ研修への参加）

・職員自らが研修講師となるヒヤリハット分析研修導入によるスキルアップ

２.保育理念・方針・目標

【保育理念】子どもたちの「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくり

【基本方針】アタマ・ココロ・カラダの三位一体「興育」～興味・体験・感動・気づき～

1. 子どもたちの興味を引き出すより多くの機会を提供する
2. 子どもの思いを受け止める
3. 子どもが自分で経験することを大切にする
4. 子どもが自分で考え工夫することを大切にする

【保育モットー】「つよく　ゆたかに　キラキラと」をモットーとしています

「つよく」＊我慢強さ、諦めない気持ち（ココロ）

＊自分で考え抜く力（アタマ）　＊前に踏み出す力　＊健全なカラダ

「ゆたかに」＊ゆたかなココロ　＊ゆたかな感性　＊創造性のゆたかさ　＊ゆたかなコミュニケーション

「キラキラと」＊ココロの輝き　＊興味を持ち打ち込んでいる目の輝き　＊キラキラ輝いている自分への自信

※自園の「目指すべき姿」

『乳幼児期という大切な時期に「あそび」の中で様々な体験・経験を通して、生きる力の基盤づくりを目指す。安心・安全な保育を進める中で関わるすべての人の「ハッピー」を追求し、子ども一人ひとりの思いを受け止め、自己肯定感を高め育みながら、誰からも愛される保育園』を目指す

※園目標：・「あそび」の中で体験や経験を通して生きる力の基盤つくりを目指す
・自己肯定感を高め育む保育
・安心安全な保育

※運営方針：「子ども中心保育」

「子ども中心」であることを保育の原則として捉え、子ども一人ひとりの人格を尊重し、生活や遊びを通して生きる力を育み、子どもの主体的な活動ができるよう環境を整え援助し、保育者も環境の一部となり関わりを大切にする

2023 年テーマ（園目標を達成する為に）

1・「１０の姿を通して巧緻性を活かした遊びの提供より保育の質の向上」

2・「ヒヤリハット分析研修（危機管理能力のスキルアップと危険予測・察知能力のアップ）」導入

3・「オープンマインドからのコミュニケーション」

※2023 年テーマ・運営方針を実現するために

1「１０の姿を通して巧緻性を活かした遊びの提供により保育の質の向上」

・・・巧緻性玩具の充実を目指し、指先を使い様々な体験・経験の中で、物事に積極的に取り組む意欲や集中力、根気強さなど身につけ子ども達が主体的・自発的に遊びたくなる環境を整える。１０の姿を年案・月案・週案へと具体的に落とし込み、遊びのマンネリ化を防ぐ。室内遊び・戸外遊びへの充実化により、遊びの幅を広げ保育の質の向上を目指す

2「ヒヤリハット分析研修（危機管理能力のスキルアップと危険予測・察知能力のアップ）」導入

・・・自園で起こりうるヒヤリハットや気づきを、研修講師としてどんな危険性が生じるか(危険予測)・どのように事故を事前に防ぐか(危険回避)を分析して学びあう　（年間計画表に沿っておこなう）

3「オープンマインドからのコミュニケーション」

・・・自分の意志や考えを発信し、他者の意見や考えを受け入れ強みへと変え、自己肯定感を高めていく

その他：

1. すべてにおいて「安心安全保育」安全保障を目指す（子ども達・保護者ともに心の繋がりを大切にし、安心感を育くむ中で信頼関係を築く）
2. 自らの命の大切さや、命を守る知識をオリジナル安全教育教材導入にて学び、環境問題にも着目し子ども達とできることから一緒に取組む

3.「安全安心対策会議」導入にて自園に潜む見落としがちな安全対策に気づき形化していく（全体リーダー・給食リーダー・乳幼児アシスタントリーダー）
4. 全職員へ自園のスタイルの理解と浸透性を目指す。自園独自の職員組織図にてサポート力の強化により相談しやすい環境提供を目指し、リーダーが抱える仕事量改善と効率化へと繋げる
5. 事故訓練の継続にて保育の中で起こりうる事故や怪我を予想し、対応方法を学ぶ（主任・全体リーダー・給食リーダー）
6. AED・エピペン・心肺蘇生訓練実施導入
ペアーになって訓練内容に沿ってそれぞれの訓練の手順を確認し、緊急時に落ち着いて対応できることを目指す

３．保育園運営（運営方針：「子ども中心保育」）

・全体的な計画の見直しと年間保育計画・月間保育計画・週間指導計画案・個別記録のＩＴＣキッズリーにての書類管理。１０の姿を年案・月案・週案へと具体的に落とし込み、遊びのマンネリ化を防ぐ。室内遊び・戸外遊びへの充実化により、遊びの幅を広げ保育の質の向上を目指す
・自園保育計画の見直しを強化し、成長発達に沿った保育の実施。年齢発達の縦の繋がりを意識し計画を進めるようにする

４．その他の取り組み（行事計画）

（１）保育関係

・引き続き、園便り・保健便り・給食便り・行事手紙・クラス便りを登降園アプリキッズリーにて保護者へ配信し行事内容を詳細に知らせる
・保育参観・クラス懇談会・個人懇談・様々な行事を実施し、保護者と子育ての情報共有を図り、連携を図り子どもの育ちへと繋げる
・インターネット・ホームページによる行事のお知らせ等
・園内絵本コーナー『ブライトフォレスト（絵本の森）』の維持と管理。子ども達が自由に絵本に触れ、絵本に親しみが持てる環境の提供を目指す
・Facebook にて保育の見える化を引き続き継続。園内に投稿を知らせる札を掲示する（顔出しＮＧ）
・登降園管理アプリキッズリーにて全クラス保育活動を毎日配信にて日々の保育の見える化を行う
・児童の健康管理とし、年２回内科検診・年１回歯科検診、毎月身体測定・乳児クラス月２回定年齢乳児検診の実施
・幼児クラスにて課内教室として体操教室・リトミック・英会話教室ＮＯＶＡの実施
・幼児クラス向け体操教室・英会話教室ＮＯＶＡ課外教室実施
・年間２回園評価に関する保護者アンケート実施にて保育の質の向上に努める
・保育士の自己評価導入にて日々の保育の振り返りを行い、集計結果をホームページにて掲載
＊２０２３年度年間行事予定は別紙参照

（２）給食・食育

・昨年同様、年齢別食育委員（保育士・給食職員）にてマナー・畑・クッキング・お箸の指導の４つの柱に分け提供。一年間で様々な体験や経験ができるよう一年計画を作成し、それぞれがつながりを持ちながら栽培活動・お箸の使い方・マナー・クッキング体験など食育の強化

を図る
・乳児クラスは視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚の五感を使った食育活動の導入を目指す
・年長児バケツ稲作り。収穫に時間をかけ生長を観察する
・「お弁当箱の日」の継続・提供内容の見直し。季節に応じたメニューの提供と子ども達が楽しめる工夫を目指す
・給食配膳、配膳マニュアル完全導入による安心・安全な食の提供の強化を図る（誤飲・誤食を完全に防ぐ）
・子ども達が自由に触れて楽しむＰＯＰ掲示を行い、栄養素や旬の食材への情報を交えた掲示物を増やし、家庭での食事バランスのヒントになるような働きかけを行う
・完全給食・手作りおやつの提供とバランスの良い献立作成を行う
・基本的に和食中心とし、洋食・中華などバラエティに富んだメニューでの提供実施
・誕生会や季節のメニューでは子ども達が喜ぶ、自園ならではの行事食を取り入れ、四季と文化を五感で感じられるような工夫をする
・季節の行事に合わせた食育イベントの導入（子ども達が主体的に参加できるよう計画し実施していく）

（３） 職員体制、職員育成
・運営方針「子ども中心保育」であることを保育の原則として捉え、子ども一人ひとりの人格を尊重し、生活や遊びを通して生きる力を育み、子どもの主体的な活動ができるよう環境を整え援助しながら保育者も環境の一部となり関わる
・全園児を全職員で育てる。縦と横のつながりを持ちながらクラス運営を進め、園全体が一つになり協調・協同し同じ方向性で進んでいく
・各委員会の年間計画を作成。計画に基づき１年間の活動を明確に進める
（４月中に作成）
・アシスタントリーダーによる新入職者へのサポート強化を目指し、働きやすい環境を提供し、不安感を取り除く
・保育補助雇上げにて保育士の仕事量の削減へと繋げる

（４）安心・安全対策・防災関係
・自らの命の大切さや、命を守る知識をオリジナル安全教育教材導入にて学び、環境問題にも着目し子ども達とできることから一緒に取組む
・すべてにおいて「安心安全保育」安全保障を目指す（子ども達・保護者ともに心の繋がりを大切にし、安心感を育くむ中で信頼関係を築く）
・「安全安心対策会議」導入にて自園に潜む見落としがちな安全対策に気づき形化していく
（全体リーダー・給食リーダー・乳幼児アシスタントリーダー）
・園外散歩マップの見直し・作成により危険個所を事前に把握する。園外保育活動時には交通ルールを学ぶなどさまざまな経験を通して、安全文化・安全教育の強化取り組みを行う。また、園外チェックリストの導入にてねらいをしっかりと定め散歩保育を行う
・０歳児クラスＩＴＣの午睡チェッカー引き続き継続。全クラス完全うつ伏せ寝禁止の徹底とSIDS チェックの徹底
済聖会午睡マニュアルの浸透を目指す
・避難訓練や実際に災害が起きた時に備えて知識を学び体験し命の守り方を知る
・施設長による虐待防止研修導入

（５）地域交流

・地域老人会「高砂会」との敬老会での交流実施

・地域小学校との交流を行い、就学前訪問実施（小学校の見学等）

・保育士・栄養士保育園実習の受け入れ

・年長児毎月地域図書館アンフォーレにて絵本の貸し出し

・引き続き子育て情報誌にて自園の保育を知らせると共に、子育てのヒントとなるように発信する

2023●年間スケジュール(4 月～10 月)

月	行事	保護者参加行事
４月	1 日（土）～8 日（土）希望保育 3 日（月）～7 日（金）・慣らし保育 10 日（月）始業式 19 日（水）避難訓練 26 日（水）誕生会	1 日（土）入園式
５月	9 日（火）避難訓練 17 日（水）不審者対策訓練 25 日（木）誕生会 未定日（水）内科健診	20 日（土）保育参観（３～５歳児） 個人懇談会　0 歳　5/29（月）30（火）
６月	1 日（木）衣替え 6 日（火）避難訓練 21 日（水）誕生会 未定日（水）歯科検診	個人懇談会 1 歳　5/31（水）～6/1（木） 2 歳　6/5（月）～6（火） 9 日（金）親子遠足（3～5 歳児） ※0～2 歳は通常保育
７月	3 日（月）プール開き 4 歳午睡開始 7 日（金）七夕会・誕生会 19 日（水）避難訓練 28 日（金）夏イベント保育(年長児)	体操参観未定
８月	7/31 日（月）～4 日（金）安城七夕作品展 3 日（木）避難訓練 12 日（土）～19 日（土）希望保育 23 日（水）誕生会 31 日（木）プール納め 4 歳午睡終了	
９月	１日（金）総合避難訓練 28 日（木）誕生会 未定（　）地域敬老会 未定（　）内科検診	１6 日（土）乳児運動会（保育参観） （0～2 歳児）

2023●年間スケジュール(12 月～3 月)

月	行事	保護者参加行事
10 月	2 日（月）衣替え 11 日（水）避難訓練 24 日（火）不審者対策訓練 26 日（木）誕生会	6 日（金）引き渡し訓練 7 日（土）幼児運動会（3～5 歳児） （雨天予備日 14 日）
11 月	1 日（水）避難訓練 28 日（火）誕生会	個人懇談会　3 歳 6 日（月）～8 日（水） 個人懇談会　4 歳 13 日（月）～15 日（水） 個人懇談会　5 歳 20 日（月）～22 日（水）
12 月	2 日（土）避難訓練 4 日（月）～7 日（木） 正月飾り作り（幼児） 14 日（木）クリスマス会・誕生会 20 日（水）～28 日（木）希望保育 29 日（金）～31 日（日）年末休園	楽器遊び会 11 日(月)～13 日（水） （乳児発表会）
1 月	1 日（月）～3 日（水）年始休園 4 日（木）～6 日（土）希望保育 11 日（木）誕生会 30 日（火）避難訓練	27 日（土）幼児生活発表会
2 月	2 日（金）節分 8 日（木）誕生会 21 日（水）不審者対策訓練 27 日（火）総合避難訓練	
3 月	6 日（水）避難訓練 7 日（木）お別れ会・誕生会 23 日（土)～30 日（土）　希望保育	22 日（金）卒園式

※日程変更・追加がある場合は園だよりにてお知らせ致します。
※太字記載行事は日程が決まり次第、園便りにてお知らせ致します。

令和５年度ブライト保育園名古屋一社事業計画書

１．　保育理念・方針・目標

【保育理念】

子どもたちの「生きる力」の基盤つくりを支援する

【基本方針】

アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育(興味・体験・感動・気づき)

⑴ 子どもたちの興味を引き出す、より多くの機会を提供する

⑵ 子どもの思いを受け止める

⑶ 子どもが自分で経験することを大切にする

⑷ 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

【保育モットー】

「つよく　ゆたかに　キラキラと」

自発的な活動を通してあきらめない気持ちや我慢強さ、しなやかで豊かな心を育て、子どもの「やりたい」という意欲を大事に存分に保障していく。

子どもたち一人ひとりの生活リズムを大切にそれぞれのリズムを大切に、それぞれの

発達に合わせて援助し、自分に対して自信を持って輝いていけるよう良い姿をたくさん

伸ばしていく

【保育目標】

・自分の気持ちを素直に表現できる子ども

・豊かな感性や表現力を持ち、創造力のある子ども

・自分で考え工夫して判断できる子ども

【保育内容】

・子どもの「なぜ」「どうして」といった疑問や興味は創造力を豊かにして知的・精神的な成長を促し、見る力と考える力を育むために必要である。保育士が、疑問・つぶやきを見逃さないようにする。

・子どもが選択する機会を意識的に多く作るようにしていく。保育士がなるべく口を出さずに見守っていく。

2　園児数・保育士

（1）定数　６０名

（2）年齢別入園児数(令和５年４月１日)

	ゆめ（０歳）	にじ（１歳）	つき（２歳）	ほし（３歳）	そら（４歳）	はな（５歳）
定数	6	１２	１２	１０	１０	１０
在籍数	1	１２	１２	１２	１２	１０

（3）　職員数

・園長１名　・主任１名　　・保育士 11 名　　・パート保育士３名　　調理(栄養士) ２名

・保育従事者２名　　・委託医２名(内科１名・歯科１名)　　計 20 名(育休１名)

3　保育運営

・全体の計画、年間保育計画、月案、週案を合わせ、理解を深めて保育につなげていく。

・各クラス保育室の環境設定を期ごとで話し合いながら、保育をつなげられるようにする。

4　研修会(職員の質の向上)・職員会

・職員から研修テーマを提起しそのテーマに基づいてグループで話し合い、日々の保育に活かしていく。

・定例職員会議(毎月)　・クラス会議(毎月)　　・給食会議(毎月)

・研修会・研究会に積極的に参加

5　行事計画

・園だより、保健だより、給食だより、クラスだより、行事だよりなど、行事内容を詳細に知らせる。

・保育参観、個人懇談を実施する

・体操教室　年２４回　英語教室　年３３回

6　給食・食育

・誕生会・季節メニューなどの行事食を取り入れる

・自分の食べられる量を自分で決め、伝えることができるようにする

・安心、安全な食の提供の強化(誤飲、誤食を防ぐ)

・食に関する提示を行い、食への関心を広げる

・子どもの食の様子などを把握するため、栄養士が給食時に各クラスに入り食事の様子を知る

・人気メニューレシピの公開
・季節の野菜の皮むきなど取り入れて、におい、感覚など楽しむ
・子どものやってみたいを尊重する

7　健康管理

園児・・・小児科　年２回(10 月・3 月)　園委託医による健康診断
　　歯科　年１回(6 月)　　園委託医による歯科検診
　　※ 毎月　　身体測定を実施

職員・・・定期健康診断
　　検便(月１回)　赤痢菌・サルモネラ菌・Ｏ－１５７・ノロウイルス
　　インフルエンザ予防接種(10 月)

8　安心・安全対策・防災関係

・ヒヤリハットの活用により安全文化・安全教育の安心を目指した保育の実現
・散歩時のチェックリストの活用により安全に努める
・散歩マップの作成
・具体的な避難訓練の実施
・地震が起きたときどうするか？絵本・紙芝居・エプロンシアターを使ってわかりやすく伝え、普段から子ども自身が身を守る術を知る
・不審者訓練実践実施　いろいろな場面を想定しながら行う
・災害時、避難所への避難の仕方、避難食提供リストマニュアルを全職員把握
・園内でのＡＥＤ講習会・エピペン講習を開催し、全職員が対応できることを目指す
・消防署の方に来ていただき、防災について話していただく　水消化訓練実施
・安全面でのチェックを行う

社会福祉法人　済聖会

【ブライト保育園大阪歌島　2023年度事業計画書】

1.　保育理念・方針・目標

【保育理念】

子どもたちの「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基礎作りを支援する

【基本方針】

アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育（興味・感動・気づき）

1）　子どもたちの興味を引き出す、より多くの機会を提供する

2）　子どもの思いを受け止める

3）　子どもが自分で経験することを大切にする

4）　子どもが自分で考え工夫することを大切にする

【保育モットー】

「つよく　ゆたかに　キラキラと」

『つよく』・我慢強さ、打たれ強さ、あきらめない気持ち、負けない強さ（健全なる競争心）

・健康増進、健康な体づくり

・自分で考え、自分で行動する、常にプラス思考

『ゆたかに』・心の豊かさ、豊かなコミュニケ-ション、創造性の豊かさ、豊かな感性

『キラキラと』・ココロの輝き

・何か一つでも好きで夢中になれるものを見いだし、探求心・持続力・集中力を養い、自分に対して自信を持って輝いている

【園目標】

・子ども一人ひとりに愛情を注ぎ、気持ちを受け止め、様々な活動を通して発達を支援していく

・保護者の気持ちや考えを理解し、信頼関係を基に保護者の自己決定を尊重する

・日々の保育の中で、職員間で声を掛け合い、伝え合うことで子どもにとってより良い保育をしていく

【園目標実現のために】

・子どもが自分の感情や意思を持ち、やりたいことを自分で決め、保育者はそれを見守り支える
・自分の持っている力を存分に発揮できる環境を整える
・一人ひとりの発達過程や個性を見据え、個人差を尊重した保育をする
・保護者に対し登降園時に子どもの家での様子を聞いたり、保育園での様子を伝えること等、普段から気軽に話ができる関係を築いていく
・職員同士、相手の話を共感的に聴くことを心がけ、協力体制を作る

2.　園児数・職員数

（1）定員　認可定員　72 名
　　利用定員　60 名

（2）年齢別入園児童数（2023 年４月１日在籍数）

	ゆめ ０歳児	にじ １歳児	つき ２歳児	ほし ３歳児	そら ４歳児	はな ５歳児
認可定員	6	12	12	14	14	14
利用定員	3	7	12	12	14	12
在籍数	3	7	11	11	14	12

園児数　合計５８名　　職員数　合計１４名　（2023 年度４月１日現在）

（3）職員数

・園長　１名　　・保育士　６名　　・管理栄養士　１名　・栄養士　１名
・非常勤保育士　３名　　・非常勤子育て支援員　１名　　・調理補助　１名

（4）開園時間

７時～19 時（延長保育　18 時～19 時）

3.　職員の質の向上のために

（1）　職員会議・その他会議について

・職員会議（毎月）　　・カリキュラム会議（毎月）　・給食会議（毎月）
・クラス代表者会議（随時）　　・クラス会議（随時）
・行事担当者会議

（2）　研修について

・大阪市・私保連の研修に参加し、新たな情報をもとに保育の質の向上に活かしていく

・職員が学びたい外部研修にも参加できるように計画・実行し、園内研修の場を設け共有していく
・園内研修を実施し、情報共有及び保育の質の向上・安心安全の保育に繋げていく
・消防署の協力を得て園内の救命救急講習に参加し、万が一の際にも皆が対応できるように救命措置を身につける

（3） 給食・食育
・食育計画に基づき、季節を感じられる食材を取り入れ、手作りで和食中心の給食を提供する
・アレルギー対策として、徹底管理の上で卵・乳の除去食を提供する
・行事の際に、給食を通して子どもたちの取り組みや気持ちの励みになるようなメニューを考えて提供し、子どもたちとの繋がりを持つ
・給食室職員、子ども、保育士が連携して食育活動を楽しむ
・子どもの食への興味や好き嫌いなどを把握するために、栄養士が給食時にクラスに入り子どもの様子を見たり、園児と触れ合う
・毎日給食展示を行い、保護者にも給食・おやつを見ていただく

4. 安全・健康管理
（1） 健康管理
1） 園児
・内科健診　年２回（年齢ごとに月替わりで実施）
園嘱託医による健康診断
・歯科検診　年１回（６月）園嘱託医による歯科検診
・身長　体重を計測　毎月

2） 職員
・定期健康診断　年１回健康診断
・腸内検査　毎月　「赤痢菌」「サルモネラ菌」「O157」の実施
冬季　「ノロウイルス」（給食・０歳児対応職員）

（2）安全対策
・避難訓練、不審者対策訓練等、火災・地震・不審者の対応について年間計画に基づき園全体で実施する
・土曜日、早朝、夕方の職員が少ない時間帯の避難訓練は、職員が順番に参加し臨機応変な対応ができるようにする

・防犯対策として玄関はオートロックを配し、不審者の侵入を防ぐ
・津波時の避難先（グリコ敷地内）に、年１回（１１月予定）訓練で入らせてもらい、実際の場所や避難経路を確認し把握する

5.　年間行事

月	行事	保護者参加予定の行事
４月	・身体計測 ・避難訓練 ・内科健診（3 歳児）	・入園式
５月	・こどもの日の集い ・身体計測 ・遠足（３.４.５歳児） （行先は検討） ・避難訓練 ・内科健診（4 歳児）	・クラス懇談会 （0.1.2 歳児）
６月	・歯科検診 ・身体計測 ・不審者対策訓練 ・避難訓練 ・内科健診（5 歳児）	・保育参観、クラス懇談会 （3.4.5 歳児）
７月	・七夕の集い ・身体計測 ・プール開き ・避難訓練 ・内科健診（０・１歳児）	
８月	・身体計測 ・避難訓練 ・プール閉まい ・内科健診（２歳児）	
９月	・身体計測 ・避難訓練 ・内科健診（３歳児）	・キラキラの会
１０月	・身体計測 ・避難訓練 ・遠足（3.4.5歳児）	・運動会

	（行先は検討） ・内科健診（４歳児）	
11 月	・身体計測 ・不審者対策訓練 ・勤労感謝の日 ・避難訓練（グリコ敷地内） ・内科健診（5 歳児）	
12 月	・身体計測 ・避難訓練 ・クリスマス会 ・内科健診（0.1 歳児）	・保育参観（3.4.5 歳児）
１月	・お正月遊びの日 ・身体計測 ・避難訓練	・クラス懇談会（0.1 歳児）
２月	・節分（豆まき） ・不審者対策訓練 ・身体計測 ・避難訓練 ・内科健診（2 歳児）	・生活発表会
3月	・ひなまつり ・身体計測 ・お別れ会 ・避難訓練 ・内科健診（新入園児）	・卒園式

※個人懇談会日程を検討する